

目 次

目 次	1
I. 2017 (平成29) 年度の主な活動	3
*2017 (平成29) 年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) <京の歴史>ゾーン	7
2) <京のまつり>ゾーン	9
3) <京の至宝と文化>ゾーン	14
4) 3階展示室	24
5) ぶんぱく京都講座	26
III-2 特別展示	27
*2017(平成29) 年度特別展一覧	36
III-3 映 画	38
1) 常設上映	38
2) 特別企画・共催事業	39
3) 映像ギャラリー常設展示	43
III-4 その他	43
III-5 京都学・歴彩館における展示	44
IV. 調査研究活動	46
IV-1 学芸員の活動	46
1) 研 究	46
2) 出講・委嘱	46
3) 業 績	47
V. 普及活動	50
V-1 出版物	50
1) 研究紀要『朱雀』	50
2) 年報	50
3) 展覧会図録	50
V-2 音楽会	51
V-3 学習普及外部連携室	52
1) ボランティア	52
2) 「ぶんぱく子ども教室」事業	52
3) 団体見学案内	53
4) 生き方探求チャレンジ体験	53

V-4	博物館実習	54
V-5	資料・情報公開	54
1)	資料閲覧室	54
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	54
V-6	外部連携活動	55
1)	他館との連携	55
2)	京都府内の学校との連携事業	55
3)	地域との連携	56
V-7	京都文化博物館友の会	57
1)	会 員	57
2)	事業概要	58
VI.	ギャラリー事業	59
VI-1	5・6階展示室	59
1)	京都文化財団展示室運営委員会	59
2)	美術・工芸作家の利用	59
3)	生涯学習的発表期間の利用	60
4)	一般の利用	62
VI-2	別館ホール	62
VII.	管理・運営	64
VII-1	組織と職員	64
1)	組 織	64
2)	京都文化財団	64
3)	京都文化博物館	65
VII-2	施 設	66
1)	本館関係	66
2)	別館関係	66
VII-3	館内店舗	69
1)	ろうじ店舗	69
2)	別館店舗一覧	69
3)	博和会・ろうじ行事	69
VIII.	2017(平成29)年度のあゆみ	70

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2017(平成29)年度の 主な活動

京都府立京都学・歴史館(以下「京都学・歴史館」)が、2017年4月28日にグランドオープンとなった。京都市・北山通に面した京都府立総合資料館(以下「総合資料館」)が閉館し、その南約200mに新施設が誕生した。これに伴い、当館が総合資料館の収蔵庫で管理していた5万点を超える京都府所蔵資料は京都学・歴史館に整備された新収蔵庫に移されることになった。

数年間の移転準備作業を経て、資料の確認等を行いデータベースに整理しながら、本年度に入り本格的な移転作業を進めた。通常の引越し作業とは異なり、運搬の対象は博物館の基盤となる貴重な資料である。僅か200mほどの移転とはいえ、取扱いには細心の注意が要求された。移動前の状態の確認、梱包、運搬など全ての過程に、プロフェッショナルな技量や慎重さが必要である。暑さや寒さの中で長期間にわたり資料移転の作業に従事した職員たちの苦労が実を結び、開館以来はじめての大規模な管理資料移転が無事完了した。資料のデータベース化により、今後の博物館活動の重要な基盤も整備された。これらを活用して、博物館の将来的な課題であるデジタル・アーカイブの構築を進めていきたいと考えている。



巨椋池でのデンチ漁 黒川翠山撮影写真資料 大正時代
京都府立京都学・歴史館「京の記憶アーカイブ」より

資料の展示については、京都文化博物館ならではの展示企画の強化に取り組んできた。特別展は全国数か所の美術館・博物館で開催される巡回展も多く開催しているが、そうした中でも当館の個性をいかに発揮するかを重視している。例えば「いつだって猫展」のように巡回展であっても、広報・関連イベントや展示方法などのできる限り独自性を強めるよう努めることはもちろん、同時期に総合展で「京都(うち)だって猫展」を開催して京都府所蔵の猫に関わる美術工芸品を展示するというような連動性を強めた。こうした特別展と総合展の連動は、他にも「戦国時代展」と「武家の服飾」、「パリ・マグナム写真展」と「近代京都へのまなざし—写真にみる都の姿—」があり、入館者にも好評であった。こうした取組にとどまらず、京都市内の美術館等と連携して開催した総合展「木島櫻谷の世界」は、新たな寄贈資料により、当館の近隣で生まれ育ち近代京都画壇を担った木島櫻谷を紹介するものであった。一つのテーマで複数の館が連携することにより、作家を総合的に捉えることができ、また発信力を強めるという点からも成果が得られた。このほか総合展では小規模ながらも特色ある展示を行っており、学芸員の調査研究の成果を基礎に当館の独自性を発揮する場として発展させたいと考えている。

結びに、明治の名建築である別館ホール(旧日本銀行京都支店)での催しについて触れたい。別館ホールは三条通のランドマークとして愛され、その気品ある雰囲気で開催会、コンサート等の会場として人気が高い。前年度に行った耐震工事も完了し、より安全に利用いただけるようになったが、本年度はその百年の時を生きた空間の斬新な利用が印象的であった。国際的な写真展「KYOTO GRAPHIE」(貸会場)の圧倒的な巨大モニターによる洞窟画の精細画像、京都府新鋭選抜展の特別展示である塩田千春氏のホール全体を糸で埋め尽くしたインスタレーション作品、京都府の新たな試み「Artists'Fair Kyoto」でのシャンデリアまで届くような枠組の構築物を使った現代アートの展示。こうした利用は、伝統的な建築と現代的な芸術との時代を超越した豊かな親和性を感じさせるものであり、今後も新しい発想により創造的な活用がされていくことを期待したい。

*2017(平成29)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2017.4	1,706	2,182	3,888	9,437	6,335	15,772	11,143	8,517	19,660	3,703	2,347	13,877	19,927	14,442	54,029
5	1,691	2,758	4,449	19,979	4,648	24,627	21,670	7,406	29,076	6,121	5,086	20,866	32,073	17,276	78,425
6	2,840	3,218	6,058	9,203	3,120	12,323	12,043	6,338	18,381	6,195	4,171	5,265	15,631	12,697	46,709
7	3,498	2,959	6,457	6,450	3,277	9,727	9,948	6,236	16,184	3,334	4,191	18,192	25,717	13,155	55,056
8	2,752	3,606	6,358	7,706	3,471	11,177	10,458	7,077	17,535	3,538	7,117	12,302	22,957	12,838	53,330
9	2,319	2,668	4,987	5,849	4,127	9,976	8,168	6,795	14,963	4,615	8,898	4,714	18,227	11,103	44,293
10	2,436	2,807	5,243	5,831	5,551	11,382	8,267	8,358	16,625	4,309	9,536	46,007	59,852	11,929	88,406
11	3,801	4,696	8,497	7,336	9,899	17,235	11,137	14,595	25,732	1,907	8,830	8,306	19,043	14,889	59,664
12	4,407	2,584	6,991	2,816	3,807	6,623	7,223	6,391	13,614	3,949	5,486	7,041	16,476	10,963	41,053
2018.1	3,119	2,929	6,048	5,567	26,042	31,609	8,686	28,971	37,657	572	4,625	24,170	29,367	9,503	76,527
2	2,874	2,577	5,451	9,937	16,071	26,008	12,811	18,648	31,459	1,156	5,347	7,904	14,407	11,582	57,448
3	2,355	2,438	4,793	24,407	16,284	40,691	26,762	18,722	45,484	4,122	7,672	45,546	57,340	17,805	120,629
年度計	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370	43,521	73,306	214,190	331,017	158,182	775,569
1日平均 (総309日) (特260日)	109	115	224	440	395	835	480	447	927						

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、「館資料」と「管理資料」の二種に大別される。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料を中心とする当館の所蔵・寄託品で、他に若干の絵画資料や歴史資料などを含む。対して管理資料とは、京都府立京都学・歴史館(旧京都府立総合資料館)所蔵・寄託資料のうち、当館が管理を委託されている美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの管理資料については、当館設立以来その収集、管理、展示公開業務を総合資料館(現京都学・歴史館)より委託されている。同館において資料を管理しつつ、当館および京都学・歴史館の両館において展示公開するとともに、収集や利用等についての業務を当館で行っている。

2017年度末時点での管理資料は53,610点、寄託資料が1,010点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ-1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分 野	作 者	資料名	点 数
日本画	小川 千甕	「西洋風俗大津絵」ほか	5
その他		『菓子考(総本家 若狭屋)』ほか	9
日本画	町田 泰宣	「気(黄山)」ほか	3
日本画		「和漢古名家縮写」ほか	2
日本画	下村良之介	「軍鶏」ほか	1
日本画		「吉田松村免状資料(今尾景年画塾)」ほか	4
陶芸	錦光 山	「白磁花瓶」ほか	2
日本画	小川 千甕	「福自天来」ほか	4
日本画	武藤 彰	「池畔芳春(竜安寺の池)」	1
その他		「太古島田」ほか	388
日本画	上村淳之ほか	「京都の日本画とかな書による百人一首屏風」	1
日本画	山崎 隆夫	「沼宴」ほか	2
陶芸	初代宇野宗甕	「鯉 置物」	1

小計 423点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館蔵資料	日本画	7件 8点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	89件 843点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	3件 49点	
管理資料	日本画	7件 22点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 675点	14件 1011点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
考古	平安京左京三条三坊十一町出土大甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター企画展 (但し、利用延長)
日本史	坂本龍馬書簡集 他	3	高知県立高知城歴史博物館	企画展「大政奉還と土佐藩」
考古	平安京左京五条二坊十六町出土遺物等	19	備前市教育委員会	企画展「医王山東麓窯跡群の全貌！」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	秋野不矩「平安神宮」、ほか	4	浜松市秋野不矩美術館	展覧会「日本画 こころの京都百選」に出品のため
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	幸野豊一「大田の杜若」、ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業庁内展示のため
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	石原貴暉「丹波路の駅(八木)」、ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	上村淳之「啼く」	1	北海道立旭川美術館	展覧会「上村松園・松篁・淳之展」に出品のため
歴史	「坂本龍馬書簡集」、ほか	2	京都国立博物館、静岡県美術館、読売新聞東京本社	展覧会「没後一五〇年 坂本龍馬」に出品のため
日本画	狩野元信「繫馬図(子守神社蔵、寄託品)」	1	サントリ美術館	展覧会「天下を治めた絵師 狩野元信」に出品のため
日本画	池大雅「高士訪隠図屏風」、ほか	4	静岡県立美術館	展覧会「美しき庭園画の世界」に出品のため
洋画	麻田浩「北山杉」	1	南丹市文化博物館	展覧会「麻田浩展 ～小さな絵の世界～」に出品のため
日本画	「尾形光琳筆風雷神神図屏風・酒井抱一筆夏秋草図屏風復元コロタイプ複製」	1	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	展覧会「第40回記念琳派百図展」に出品のため
日本画	源琦「双龍図押絵貼屏風」、ほか	2	茨城県立近代美術館天心記念五浦分館	展覧会「開館20周年記念 龍を描く」に出品のため
陶磁器	井上治男「風神花瓶」、ほか	2	岐阜県現代陶芸美術館	展覧会「1964 証言 ―現代国際陶芸展の衝撃」に出品のため
陶磁器	三代清風与平「青華磁牡丹唐花鳥文花瓶」	1	久米美術館	展覧会「美術工芸の半世紀 明治の万国博覧会Ⅲ」に出品のため
日本画	伝浮田一蕙「祐宮像」	1	埼玉県立歴史と民俗の博物館	展覧会「明治天皇と氷川神社 一行の奇跡」に出品のため
日本画	岩澤重夫「比叡雪月花」、ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	木島櫻谷「初夏・晩秋」、ほか	2	泉屋博物館	展覧会「木島櫻谷 ―近代動物画の冒険」に出品のため
日本画	箱崎睦昌「宇治上神社」、ほか	2	中信美術館	展覧会「第30回 京都美術文化賞受賞記念展」に出品のため
日本画	三輪昶勢「木屋町の家」	1	ふくやま美術館	展覧会「日本画モダニスト 堂本印象と門下の精鋭たち展」に出品のため
日本画	幸野榊嶺「魯秋潔婦図」、ほか	3	東京藝術大学大学美術館	展覧会「東西美人画の名作《序の舞》への系譜」に出品のため
日本画	安達真速「鳥獣戯画模写」、ほか	2	大阪市立美術館	展覧会「江戸の戯画 ―鳥羽絵から北斎・国芳・曉斎まで」に出品のため
日本画	池大雅「柳下童子図屏風」、ほか	11	京都国立博物館	展覧会「池大雅 一天衣無縫の旅の画家」に出品のため
日本画	岸竹堂「糸桜に小禽図」、ほか	3	京都国立近代美術館	展覧会「明治150年展 明治の日本画と工芸」に出品のため

合計 24件 68点

2) その他

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 41件 特別観覧 14件 / 管理資料：撮影・利用 23件 58点 特別観覧 4件 4点

寄託資料一時持ち出し・貸与

寄託資料一時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館資料	歴史	大島本源氏物語	4	米沢市上杉博物館	展覧会
	歴史	大島本源氏物語	3	福岡市博物館	展覧会
	日本画	上村松園 夕暮	1	水野美術館	展覧会
管理資料	歴史	緋威小札大鑑ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼

Ⅲ 展示活動

Ⅲ-1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成され

る。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵／寄託
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	<*>
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	<*>	
	近代都市京都の誕生	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局
		15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局
		16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局
		17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館
		18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館
		19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
		20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館
		21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館
		22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館
		23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター
		24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<*>
		25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター
	実物資料	京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はざとり標本	1点
平安京の造営		27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<*>
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<*>
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<*>
平安貴族のくらしと文化		30	池亭記(複製資料)	1巻	<*>
		31	土器 雲林院跡出土	37点	<*>
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<*>
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
		34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
中世都市市民の生活		35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	<*>
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<*>
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<*>
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<*>
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
		40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
近世町人のなりわい		41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<*>
		42	京童	1冊	<*>
		43	都名所図会	1冊	<*>
		44	つぼつぼ	9点	<*>
	45	でんぼ	1組	個人	
	46	伏見人形 布袋	1点	<*>	
	47	伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
	48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<*>	
	49	柄鏡	1点	<*>	

※所蔵欄 <*>印の資料は京都府立京都学・歴史館蔵(当館管理)、<*>印の資料は当館蔵

2) <京のまつり>ゾーン

① 祇園祭—放下鉦の名宝—

会 期：2017年4月8日(土)～6月18日(日)
 前期展示：4月8日(土)～5月14日(日)
 後期展示：5月17日(水)～6月18日(日)
 概 要：「伝統を守りながらも時代とともにあゆむ鉦」
 京都祇園祭の山鉦巡行には、真木と呼ばれる
 長大な柱状の木を有する鉦が6基登場する
 が、その中でも真木の中程にある天王台に放
 下僧の御神像が祀られているのが放下鉦。放
 下鉦は、鉦頭に洲浜を模した飾りを持つこと
 から「洲浜鉦」とも呼ばれてきたが、この鉦頭
 は日と月と星の三光が世を照らす様子をあら

わすとも言われている。放下鉦には、インド
 など海外で織られた舶来の懸装品を数多く有
 しているほか、刺繍で描かれた「琴棋書画図」
 の豪華な水引など、国内の技術によってしつ
 らえられた幕類にも優品を多く所持してい
 る。また稚児にまつわる様々な品が伝え残さ
 れているのも魅力のひとつ。この展覧会では、
 放下鉦に伝来する貴重な品々を公開した。

出品資料数：19点
 担当者：橋本 章

【「祇園祭—放下鉦の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	見送 嬉遊百子園の図・番い鳳凰日輪額	17世紀中頃	1枚	重要有形民俗文化財	前期
2	前懸 メダリオン中東蓮花葉文様 インド模織絨毯	17世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	胴懸 朝鮮毛綴 玉取獅子にすすきの図 玉取獅子に波と綱の図 玉取獅子の図	16世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	後期
4	胴懸 朝鮮毛綴 鳳凰と虎に鶴と鶴と梅の図 鳳凰と虎に鶴と牡丹の図 鳳凰と虎に鶴と鶴と牡丹の図	16世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	後期
5	後懸 朝鮮毛綴 玉取親子獅子と山神の図 玉取親子獅子と虎に松に鶴の図 番い鳳凰に鶴と鶴と牡丹の図	16世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	後期
6	胴懸 蔓花文様大花周縁額 フランス捺染掛物	19世紀前半	2枚	重要有形民俗文化財	前期
7	下水引 琴棋書画図刺繍 下絵 与謝蕪村	安永8年(1779)	3枚	重要有形民俗文化財	通期
8	鉦頭	文政9年(1826)	1本	重要有形民俗文化財	前期
9	鉦頭	昭和15年(1940)	1本	重要有形民俗文化財	後期
10	妻飾 木彫彩色丹頂鶴の図	大正6年(1917)	5点	重要有形民俗文化財	後期
11	角飾具 雲龍宝珠文様漆箔	安政4年(1857)	4点	重要有形民俗文化財	通期
12	見送裾部飾金具 四季花鳥図文様鍍金金具	文政12年(1829)	9点	重要有形民俗文化財	前期
13	飾房 四角縹色	平成12年(2000)	2本	重要有形民俗文化財	前期
14	稚児衣裳	平成5年(1993)	一式	重要有形民俗文化財	前期
15	稚児天冠	昭和4年(1929)	1台	重要有形民俗文化財	後期
16	稚児羯鼓	昭和4年(1929)	1基	重要有形民俗文化財	後期
17	妻飾下絵 丹頂鶴 幸野樗嶺筆	明治23年(1890)	2本		後期
18	見送裾飾金具下絵 四季花鳥図		2枚		前期
19	御鞍 黒漆塗桜花文蒔絵		1背		後期

② 祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—

会 期：2017年6月20日(火)～7月30日(日)

概 要：「祇園祭の山鉾巡行とそれを取り巻くさまざまな文化の魅力を紹介」

京の歴史とともに現代まで連綿と受け継がれてきた祇園祭は、京都だけでなく日本を代表する祭礼として名高い。絢爛豪華な懸装品で飾られた山鉾は「動く美術館」とも称され、国内はもとより遠く東アジアや中近東、そしてヨーロッパの美術工芸の粋が集結している。祇園祭に登場する山鉾は、国の重要有形民俗文化財に指定されているほか、「山・鉾・屋台行事」のひとつとしてユネスコの無形文化遺産にも登録されている。また、祇園祭は日本の都市祭礼の典型として、町に暮らす人び

ととの関わりの中で様々な文化を生み出してきた。災厄を逃れる呪符としての効果を期待された粽をめぐる習俗や、山鉾巡行を控えた宵山に催される屏風祭などのおもてなしの文化は、祭りを楽しむ人びとの心が生み出した、京都祇園祭を象徴するものである。この展示では、祇園祭に登場する山鉾の歴史や文化の様相に迫ると共に、屏風祭や粽の授与など祇園祭に際して行われる各行事の魅力を紹介した。そして、各山鉾の様相を細密に描いた大作「祇園祭山鉾絵図」も展示し、これを手掛けた故・西脇友一氏の画業にも迫った。

出品資料数：9点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」展 出品予定資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	所蔵
1	菊水鉾巡行模型	昭和46年(1971)	一式	京都府蔵(京都文化博物館管理)
2	月鉾模型	昭和時代	1基	京都府蔵(京都文化博物館管理)
3	『都名所図会』	安永9年(1780)	6冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
4	善秋・万秋筆「祇園会」	明治時代	1幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)
5	楠部 彌弍作「祭り」	昭和49年(1974)	1口	京都府蔵(京都文化博物館管理)
6	洛中洛外図屏風(松居家本)	江戸時代後期	6曲1双	個人蔵
7	西脇友一画「祇園祭山鉾絵図」	昭和60年(1985)	12枚	京都文化博物館
8	西脇友一画「祇園祭山鉾町鳥瞰図」	昭和60年(1985)	1枚	京都文化博物館
9	長刀鉾鉾頭模型	昭和時代	1台	京都文化博物館

③ 祇園祭—白楽天山の名宝—

会 期：2017年8月5日(土)～10月15日(日)

前期展示：8月5日(土)～9月10日(日)

後期展示：9月13日(水)～10月15日(日)

概 要：「白楽天と禅道林師の問答の場面に

取材した山」

白楽天山の意匠は、唐の詩人白楽天が道林禅師に仏法の大意を問う場面をあらわしている。高名な詩人と禅師との問答の様子は、深い洞察と経験に裏打ちされた人の素晴らしさを感じさせ、見る者に学問を志す心持ちを誘う。白楽天山を飾る装飾品には、16世紀に作られたゴブラン織の「トロイヤから脱出するアイネリアス」を中央にして、左右には波

濤飛龍文刺繍裂を継ぎ合わせた前懸をはじめ、孔雀や麒麟などの聖獣を金糸で刺繍した水引、そして見送には山鹿清華作の「北京万寿山図」の綴織が用いられている。また胴懸には、左に昭和53年(1978)にフランスから輸入した17世紀のフランドル地方製のゴブラン織「農民の食事」を、右には18世紀ベルギー製のタペストリー「女狩人」が用いられるなど、新しさと伝統が融合した美しい姿が山鉾巡行を彩る。今回の展覧会では、こうした白楽天山が有する貴重な品々を公開した。

出品資料数：25点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—白楽天山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	見送 北京万寿山図 毛織錦 山鹿清華作	昭和28年(1953)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
2	見送 「水辺の会話」毛綴織 18世紀フランス製	昭和53年(1978)購入	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	前懸 「イーリアス」トロイア戦争物語より(中)／波濤飛龍文様刺繍官服直し(左右)	(中)16世紀／(左右)文化5年(1808)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
4	胴懸「農民の食事」毛綴織 17世紀フランス製	昭和53年(1978)購入	1枚	重要有形民俗文化財	前期
5	胴懸「女狩人」毛綴織 18世紀ベルギー製	昭和53年(1978)購入	1枚	重要有形民俗文化財	前期
6	後懸 円紋に花畳文様 インド更紗	19世紀中頃	1枚	重要有形民俗文化財	後期
7	水引 ゴブラン織	昭和53年(1978)購入	2枚	重要有形民俗文化財	前期
8	水引 波濤雲龍文様 錦織	平成7年(1995)	3枚	重要有形民俗文化財	後期
9	欄縁 黒漆塗彫金四君子文様金具付	昭和51年(1976)	一式	重要有形民俗文化財	後期
10	角飾金具 老松之丸文様金具付 彫金	文政4年(1821)	8点	重要有形民俗文化財	前期
11	見送上部飾金具 雲に麒麟図金具	昭和32年(1957)	2点	重要有形民俗文化財	前期
12	見送上部飾金具 一角獣と獅子図金具	昭和53年(1978)	2点	重要有形民俗文化財	後期
13	見送裾飾金具 七宝焼	昭和61年(1986)	7点	重要有形民俗文化財	後期
14	見送上部飾房	昭和61年(1986)	2本	重要有形民俗文化財	後期
15	御神体衣裳 狩衣 白地木瓜巴文様		1領	重要有形民俗文化財	後期
16	御神体衣裳 法衣 紫地緞子		1領	重要有形民俗文化財	後期
17	御神体所持品(白楽天：笏)		各1点	重要有形民俗文化財	通期
18	御神体所持品(道林禪師：帽子・払子・数珠・団扇)		各1点	重要有形民俗文化財	通期
19	金幣	大正6年(1917)	1対	重要有形民俗文化財	後期
20	くじ箱		1点		通期
21	掛軸「八坂皇大神」「白楽天」「道林禪師」	昭和27年(1952)	各1幅		後期
22	『白楽天山之圖帳 祇園会白楽天山圖取進退之覚』	慶長7年(1602)～明治28年(1895)	1冊		前期
23	『祇園会行事次第』	元禄15年(1702)～昭和44年(1969)	1冊		前期
24	『山鋸道具帳』	宝永5年(1708)～明治28年(1895)	1冊		後期
25	『御山寄進控・新出来物控』	明和元年(1764)～安政4年(1857)	1冊		後期

④ 祇園祭—伯牙山の名宝—

会 期：2017年10月21日(土)～2018年1月14日(日)

前期展示：10月21日(土)～11月26日(日)

後期展示：11月29日(水)～1月14日(日)

概 要：「琴にまつわるふたつの物語を伝える山」

伯牙山の意匠には、友を失った悲しみから弦を断って琴を弾かなくなったという伯牙の話と、王の演奏命令に従うのを良しとせず琴を叩き割った戴逵(たいき)の話のふたつの物語が伝えられている。伯牙山に搭載される人形には斧が握られ、琴を割る様子が表現されており、どちらの物語にも通じる意匠となっている。この山の飾りの姿から、伯牙山は別名を「琴割山」とも呼ばれてきた。伯牙山を彩る

懸装品では、まず前懸の前面にかけられる軸装様に仕立てられた「慶寿詩八仙人図」が特徴的。また、山の周囲を飾る「緋羅紗地唐人物図」の水引は胴懸の中程まである幅広の画面に立体感のある押絵貼が施された華麗な品である。伯牙山の四隅には源氏胡蝶文様の飾金具が装着され、その上部には祇園祭の山鉾にはめずらしい白幣が4本立てられる。今回の展覧会では、伯牙山に伝来する貴重な品々を公開した。

出品資料数：20点

担当者：橋本章

【「祇園祭—伯牙山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	見送 五仙人図 刺繍	江戸時代中期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
2	前懸 慶寿詩八仙人図 錦織(慶寿裂)	昭和62年(1987)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	水引 緋羅紗地唐人人物図 押絵貼 房付	平成7～9年(1995～97)	2枚	重要有形民俗文化財	後期
4	前懸 (中)蜀江文様縹珍錦 (左右)淡紅地雲龍文様縹珍	文化10年(1813)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
5	胴懸 花卉尾長鳥文様 綴織	安政2年(1855)	2枚	重要有形民俗文化財	前期
6	後懸 小花唐草文様 錦織	明治～大正時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
7	後懸 錦織龍文様	平成21年(2009)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
8	白幣 黒漆塗 鉄線唐草文様鍍金金具付	弘化4年(1847)	4本	重要有形民俗文化財	後期
9	見送上部飾金具 菊桐唐草文様鍍金	享和2年(1802)	2点	重要有形民俗文化財	後期
10	角飾金具 舞楽風源氏胡蝶文様	天保5年(1834)	4点	重要有形民俗文化財	通期
11	角飾金具 菊唐草透し彫り文様	嘉永6年(1853)	4点	重要有形民俗文化財	後期
12	朱傘竿金具 雲鶴図	明治時代	5点	重要有形民俗文化財	前期
13	欄縁 黒漆塗 鉄線唐草文様鍍金金具付	江戸時代後期	4本	重要有形民俗文化財	後期
14	御琴	寛政2年(1790)	1張	重要有形民俗文化財	前期
15	御斧	文政2年(1819)	1丁	重要有形民俗文化財	後期
16	御冠	江戸時代	1点	重要有形民俗文化財	前期
17	五鈷鈴	寛政元年(1789)	2点	重要有形民俗文化財	後期
18	くじ箱	寛政9年(1797)	1点		前期
19	金銅釣燈籠	慶応元年(1865)	1対		通期
20	扁額「伯牙山」 千宗室書	昭和46年(1971)	1面		前期

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

⑤ 祇園祭—役行者山の名宝—

会 期：2018年1月20日(土)～4月1日(日)

前期展示：1月20日(土)～2月25日(日)

後期展示：2月28日(水)～4月1日(日)

概 要：「役行者の靈験譚に取材した意匠をもつ山」

京都市中京区室町通三条上ルの役行者町から祇園祭の山鉾巡行に出される役行者山は、役行者が大峰山と葛城山の間を橋を架けようとしたという逸話に取材した山である。山には役行者のほか葛城神と一言主神の3体の御神体人形が搭載されており、役行者の靈験にまつわる物語が展開されている。役行者山は、室町時代の応仁・文明の乱(1467—77)が起

こる以前から祇園祭の山鉾巡行に参加しているという長い歴史を重ねてきた山で、数々の優品が伝来している事でも知られている。例えば登り籠を紹刺刺繍で描いた旗二枚を継ぎ合わせて作られた見送や、唐子嬉遊図を綴織で表現した水引などは出色の品。そのほかに、数々の飾金具の優品が伝え残されているのも役行者山の特色のひとつである。今回の展示では役行者山に伝来した品々を公開した。

出品資料数：29点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—役行者山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	点数	時代	指定等	展示期間
1	前懸 三点継(中)牡丹に胡蝶図(左右)波濤飛龍文様 綴織	1枚	17世紀前半	重要有形民俗文化財	後期
2	後懸 四点継(左右)波濤飛龍文様(上)牡丹梅・雲龍文様(中)鶴波濤文様 綴織	1枚	18世紀前半	重要有形民俗文化財	後期
3	胴懸 雲龍波濤図 綴織	2枚	17世紀前半	重要有形民俗文化財	前期
4	見送 登龍図 紹刺刺繍	1枚	17世紀後半	重要有形民俗文化財	前期
5	見送 草花額唐婦人嬉遊図 綴織	1枚	17世紀前半	重要有形民俗文化財	後期

6	見送 草花額唐婦人嬉遊図 綴織 /裏隠し(上) 波濤に鳥刺繡補子継合(下) 桔梗木瓜鳥兜文様 錦	1 枚	昭和61年(1986)復元新調 /江戸時代中~後期	重要有形民俗文化財	後期
7	水引 唐子嬉遊図 綴織 西山勘七作	4 枚	文化18年(1811)	重要有形民俗文化財	後期
8	役行者衣裳 白地菱襷文様唐織 小袖	1 領		重要有形民俗文化財	前期
9	役行者衣裳裳帽子 二重蔓牡丹唐草文様金襴	1 点	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
10	役行者衣裳袷袢	1 点	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
11	葛城神衣裳 紅白段菊唐草文様唐織 小袖	1 領	嘉永4年(1851)	重要有形民俗文化財	前期
12	一言主神衣裳 鱗に仏具文様唐織 小袖	1 領	嘉永4年(1851)	重要有形民俗文化財	後期
13	役行者所持物(金銅鍍金錫杖頭・経巻・中啓)	各1点		重要有形民俗文化財	前期
14	葛城神所持物(宝具・中啓)	各1点		重要有形民俗文化財	前期
15	一言主神所持物(飾太刀・斧・赤頭・中啓)	各1点	飾太刀は元禄15年(1702)銘	重要有形民俗文化財	後期
16	蓮華唐草文様面袋(安楽庵裂)額装	3 枚	16世紀中頃		後期
17	雲龍輪宝木瓜巴紋様鍍金金具付き欄縁	4 本	昭和4年(1929)	重要有形民俗文化財	前期
18	角飾金具 二十八宿星図文様鍍金	4 点	江戸時代後期	重要有形民俗文化財	前期
19	角飾金具 三十六獣角金物	8 点	江戸時代後期	重要有形民俗文化財	前期
20	見送上部鍍金飾金具(弦月松・月兔文様・日輪牡丹・日鳥文様)	4 点	明治29年(1896)	重要有形民俗文化財	後期
21	見送上部飾金具(宝珠)	2 点	文化6年(1809)頃		前期
22	動物文様鍍金見送裾飾金具	10点	江戸時代後期	重要有形民俗文化財	後期
23	轆先金具	10本	江戸時代後期(ただし4点のみ昭和4年に修復)	重要有形民俗文化財	後期
24	旧欄縁角金具	4 点	江戸時代中期		前期
25	旧欄縁角金具	4 点	文化6年(1809)頃		前期
26	旧角飾金具	12点	文化6年(1809)頃		後期
27	金銅製灯籠	1 対	江戸時代後期		後期
28	くじ箱	1 点	明治37年(1904)		通期
29	役行者御神号「南無神変大菩薩」写	1 幅	嘉永7年(1854)		前期



「祇園祭－放下鉾の名宝－」後期展示風景



「祇園祭－役行者山の名宝－」前期展示風景

3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

① 近代京都の大津絵—小川千甕「西洋風俗大津絵」を中心に—

会 期：2017年4月29日(土・祝)～6月18日(日)
 前期展示：4月29日(土・祝)～5月21日(日)
 後期展示：5月23日(火)～6月18日(日)

概 要：大津絵画題を描いた近代の主な画家には、森寛齋、富岡鉄齋、鈴木松年、久保田米僊、浅井忠、竹内栖鳳、富田溪仙、山村耕花、岸田劉生などがいる。中でも、浅井忠は「今様大津絵」という絵葉書を作るなど、大津絵を愛好したことで知られている。そして、その弟子である小川千甕は、渡欧体験を踏まえて新たな「西洋風俗大津絵」シリーズを作った。本

展では、近代の画家たちによる大津絵の取り組みについて、紹介した。

出品資料数：16件
 担当者：植田彩芳子

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：5月12日(金)、6月9日(金)
 午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ12名、11名

【「近代京都の大津絵—小川千甕「西洋風俗大津絵」を中心に—」展 出品資料一覧】

番号	作 者	作 品	制作年	員数	所 蔵	展示期間
1	久保田米僊	大津絵十種	明治27年	10枚	京都府(京都文化博物館管理)	通期
2	幸野樺嶺・久保田米僊・巨勢小石	寄合三種大津絵図		1幅	白澤庵(大津市歴史博物館寄託)	前期
3	鈴木百年	大津絵行列図		1幅	白澤庵(大津市歴史博物館寄託)	後期
4	富田溪仙	六種大津絵	大正3年	1幅	白澤庵(大津市歴史博物館寄託)	後期
5	近藤浩一路	鬼の念仏		1幅	個人蔵(大津市歴史博物館寄託)	前期
6	神坂雪佳	藤娘図		1幅	個人蔵(大津市歴史博物館寄託)	前期
7	山村耕花	若衆		1幅	白澤庵(大津市歴史博物館寄託)	後期
8	大林千萬樹	藤娘		1幅	白澤庵(大津市歴史博物館寄託)	前期
9	橋本関雪	鬼の念仏		1幅	個人蔵	後期
10	鈴木松年	座頭・鬼の念仏		屏風2曲1隻	個人蔵	通期
11	鈴木松年	浮世又平・鬼の念仏		屏風2曲1隻	白澤庵	通期
12		京都画壇寄合大津絵屏風(木版)	大正12年	屏風6曲1双	個人蔵	通期(展示替)
13	浅井忠	黙語図案集	明治41年	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期(頁替)
14	小川千甕	スケッチ帖		1冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
15	小川千甕	西洋風俗大津絵	大正3年	19枚	京都府(京都文化博物館管理)	通期(展示替)
16	楠瀬日年	大津絵	大正9年	2冊	京都府立京都学・歴史館	通期(頁替)

② 京都(うち)だって猫展

会 期：2017年4月29日(土・祝)～6月18日(日)
 概 要：京都には、猫にまつわる歴史や文化が多くあり、今回の展示会では、そうした京都に伝わる猫の話をつくつて紹介した。また、京都府が所蔵する猫に関する美術工芸品や郷土玩具も公開した。江戸時代の浮世絵師・西川祐信が女三宮と猫にまつわる場面を描いた「源氏物語図 若菜」や、日本画家の三輪晁勢が

描いた「ねむり猫」、同じく日本画家の山本倉丘が黒猫の姿を描いた「霽(せい)」、そして猫をモチーフにした陶芸作品や、京都の郷土玩具蒐集家である拙健之助のコレクションからも、猫の玩具を多数出品した。

作品件数：35件
 担当者：橋本 章

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：5月12日(金)、6月9日(金)
午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：橋本章

参加者数：それぞれ15名程度

【「京都(うち)だって猫展」出品資料一覧】

番号	分類	作品名	作者名等	時代
◎ 1	歴史資料	『源氏物語』(若菜上下)	古代学協会蔵	文明13年(1481)
2	日本画	源氏物語図 若菜上下	西川 祐信	江戸時代中期
3	日本画	見立女三宮(源氏物語 若菜下)	歌川 豊春	江戸時代後期
4	日本画	猫	吉村 年代	昭和43年(1968)
5	日本画	猫	西村 五雲	
6	日本画	ストーブの前	西村 五雲	
7	日本画	乾草と猫	西村 五雲	
8	日本画	猫	榊原 紫峰	
9	日本画	霽	山本 倉丘	昭和53年(1978)
10	日本画	ねむり猫	三輪 晁勢	昭和57年(1982)
11	日本画	猫と娘	三谷 十糸子	昭和22年(1947)
12	日本画	戯れ	川島 渉	平成4年(1992)
13	陶芸	猫	高山 泰造	昭和13年(1938)
14	陶芸	猫	高山 泰造	昭和13年(1938)
15	陶芸	猫楽炉蓋	高山 泰造	昭和15年(1940)
16	郷土玩具	「住吉の初辰猫」ほか猫の郷土玩具20点	臍コレクション	

※出品資料のうちNo.2～No.16は京都府の所蔵資料です
◎は重要文化財

III - 1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

③ 京都の画家と考古学 ～太田喜二郎と濱田耕作～

会 期：2017年6月24日(土)～8月20日(日)

概 要：「アートと考古学」の取組の一環として、近代京都の考古学者と画家、とくに日本考古学の父と呼ばれる濱田耕作と、京都そして関西の洋画界を牽引した太田喜二郎をとりあげた。それぞれの分野で重要な功績をあげた二人だが、彼らが親交を深め共働でユニークな作品も生み出していたことはあまり知られていない。本展では長らく公開の機会がなかった作品を含めた貴重な品々により、二人の事績を紹介した。

出品資料数：44件

担当者：村野正景・植田彩芳子



「京都の画家と考古学」展 会場風景

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：7月7日(金)、7月17日(月・祝)、
7月28日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：村野正景・植田彩芳子

参加者数：それぞれ8名、11名、15名

【「京都の画家と考古学 ～太田喜二郎と濱田耕作～」展 出品資料一覧】

番号	作品名	作者	時代	所蔵
1	歴代天皇御陵図誌	濱田耕作	明治29年	岸和田市教育委員会
2	鷹図	濱田耕作	明治31年	岸和田市教育委員会
3	嫩草山	濱田耕作	明治33年	岸和田市教育委員会
4	旅の画帖	濱田耕作	明治37年	岸和田市教育委員会
5	短歌短冊	濱田耕作	大正3～4年頃	岸和田市教育委員会
6	國華	國華社	明治～昭和時代	京都府立京都学・歴史館
7	ストックホルム王宮窓外所見	濱田耕作	昭和2年	岸和田市教育委員会
8	濱田耕作編著の書籍類	濱田耕作	大正～昭和時代	京都文化博物館
9	考古学関係資料模型図譜	上野製作所	昭和6年	個人蔵
10	久津川車塚古墳石棺模型	上野製作所	大正～昭和時代頃	京都府立鴨沂高等学校
11	小学国語読本 卷十二	濱田耕作	昭和13年	個人蔵
12	京都帝国大学総長親任状		昭和12年	岸和田市教育委員会
13	濱田先生追悼會記念絵葉書		昭和13年	岸和田市教育委員会
14	学生時代のデッサン(花と鼎)	太田喜二郎	明治36～41年頃	個人蔵
15	奈良京都旅行日記	太田喜二郎	明治40年	個人蔵
16	滞欧日記	太田喜二郎	明治41～大正2年	個人蔵
17	木陰の少女	太田喜二郎	明治42年	個人蔵
18	老爺	太田喜二郎	大正3～5年頃	個人蔵
19	黄海海戦	太田喜二郎	昭和9年	個人蔵
20	蓮のスケッチ	太田喜二郎	昭和10年代頃か	個人蔵
21	風土記挿図	太田喜二郎	昭和10～11年	個人蔵
22	太田喜二郎自画像	太田喜二郎	年代不詳	個人蔵
23	竹の図 水差	太田喜二郎	年代不詳	個人蔵
24	仏画	太田喜二郎	大正～昭和時代か	個人蔵
25	仏画	太田喜二郎	大正～昭和時代か	個人蔵
26	審査員等委嘱状		大正～昭和時代	個人蔵
27	香炉形陶製品 濱田遺愛品		近代	個人蔵
28	宋胡録 鉄絵合子		16世紀	個人蔵
29	陶質土器		5～8世紀	個人蔵
30	鼎図短歌色紙(複製)	濱田耕作	昭和13年	岸和田市教育委員会
31	署名集	太田喜二郎	大正～昭和時代か	個人蔵
32	濱田青陵肖像画	太田喜二郎	大正末～昭和初期	岸和田市教育委員会
33	裸婦像	濱田耕作	大正8～12年頃	岸和田市教育委員会
34	風景画	濱田耕作	大正時代頃か	岸和田市教育委員会
35	慶州スケッチブック	太田喜二郎	大正13年	個人蔵
36	慶州旅行の日記	太田喜二郎	大正13年	個人蔵
37	朝鮮絵巻	濱田耕作・太田喜二郎	大正13年	個人蔵
38	大同雲崗石佛寺門前	太田喜二郎	大正14年	個人蔵
39	北京玉泉塔	太田喜二郎	大正14年頃	個人蔵
40	万里の長城	太田喜二郎	大正14年頃	個人蔵
41	黄不動拝観絵巻	太田喜二郎	昭和5年	個人蔵
42	石舞台古墳発掘絵巻	太田喜二郎	昭和8年	個人蔵
43	石舞台古墳発掘絵巻	太田喜二郎	昭和8年	個人蔵
44	映像 石舞台古墳発掘,1933-1935		昭和8年～10年	注1

注1：番号44は、映像提供：京都大学総合博物館・京都大学大学院文学研究科考古学研究室、京都大学研究資源アーカイブ収録。

④ 伊砂利彦作品展

会 期：2017年8月26日(土)～10月22日(日)

前期展示：8月26日(土)～9月24日(日)

後期展示：9月27日(水)～10月22日(日)

概 要：伊砂利彦(1924-2010)は、京都市に生まれ、型絵染の分野で京都を中心に活躍した作家である。活動の当初は蠟纈染の作品を制作していたが、稲垣稔次郎(1902-1963)の影響を受けて型絵染を制作するようになり、新匠会の主催であった富本憲吉(1886-1963)の「模様から模様を造らず」という言葉を守り自然の観察と写生を大切に制作した。今回の展示では、初期の貴重な蠟纈染の作品である「伊根の舟小屋」(1961年頃)や、伊砂にとって大

きなテーマであった松をあらわした「松一月待ち」(1965年)などを、師であった稲垣稔次郎の「山ぐにの春」などととも紹介した。

出品資料数：10件

担当者：林 智子

【関連行事】

[1]ギャラリートーク

日時：9月8日(金)、10月6日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：林 智子

参加者数：それぞれ5名ずつ

【「伊砂利彦作品展」出品資料一覧】

番号	作品名	作 者	形 式	技法、材料	制作年	展示期間
1	山ぐにの春	稲垣 稔次郎	額	木綿、型絵染	1954年	通期
2	上雲	小合 友之助	屏風 二曲一隻	絹紬、蠟纈染	1963年	後期
3	伊根の舟小屋	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	絹、蠟纈染	1961年頃	前期
4	松一月待ち一	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	絹、型絵染	1965年	前期
5	ローマの松	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	和紙、型絵染	1967年	通期
6	松一枝垂れ一	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	和紙、型絵染	1969年	通期
7	山湖落日	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	和紙、型絵染	1974年	通期
8	山湖落日	伊砂 利彦	着物	絹、型絵染		通期
9	無地無松	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	和紙、型絵染	1983年	後期
10	月の道	伊砂 利彦	屏風 二曲一隻	和紙、型絵染	1991年	通期
特別出品	伊根の舟小屋	意匠：伊砂利彦	帯			前期

⑤ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 7

会 期：2017年8月26日(土)～10月22日(日)

前期展示：8月26日(土)～9月24日(日)

後期展示：9月27日(水)～10月22日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「摂関をとりまく人々―書状・消息と日記―」をテーマに、摂関と貴顕の華やかな交流をものがたる仮名の消息や漢文の書状、近衛家の当主や家司が写し伝えた廷臣の日記や所領目録、『春日権現霊験記絵巻』等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：29件

担当者：長村祥知

【関連行事】

[1]ギャラリートーク

日時：9月1日(金)、10月13日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：長村祥知

参加者数：それぞれ10名、16名

【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 7」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	制作期	員数	会期
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘五年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘5年(1008)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 長和二年巻		平安時代 11世紀	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘八年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘8年(1011)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘八年巻	藤原師実筆	平安時代 11世紀	1巻	後期
5		春日権現霊験記絵巻 巻第九	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現霊験記絵巻 巻第十一	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7	重文	後朱雀天皇宸翰書状		平安時代 長久5年(1044)	1幅	前期
8	重文	平信範書状		平安時代 仁安2年(1167)	1幅	後期
9	重文	慈円書状		鎌倉時代 貞応3年(1224)	1幅	前期
10	重文	冷泉為相書状 万里小路宣房勘返		鎌倉時代 14世紀	1幅	後期
11		伝西行仮名消息		平安時代 12世紀	1幅	通期
12		坊門局仮名消息		平安時代 寿永2年(1183)	1幅	通期
13		伝後鳥羽天皇宸翰仮名消息		鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
14		伝藤原定家仮名消息		鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
15	重美	伏見天皇宸翰書状		鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
16		近衛信基(信尹)書状		安土桃山時代 16世紀	1幅	通期
17		後陽成天皇宸翰書状		安土桃山時代 16世紀	1幅	通期
18		中和門院仮名消息		安土桃山時代 16世紀	1幅	通期
19	重美	後西天皇宸翰書状		江戸時代 17世紀	1幅	通期
20	重文	平記のうち 親信記 天禄三年記	平信範筆	平安時代 12世紀	1巻	前期
21	重文	平記のうち 行親記 長暦元年記		平安時代 12世紀	1巻	後期
22	重文	中右記 永長二年夏記	近衛兼経筆	鎌倉時代 宝治3年(1249)	1巻	前期
23	重文	中右記 嘉承二年秋記		鎌倉時代 13世紀	1巻	後期
24	重文	永昌記 天永元年三月記		平安時代 承安2年(1172)	1巻	前期
25	重文	永昌記 天永二年十月記		平安時代 12世紀	1巻	後期
26	重文	愚昧記 安元三年春夏記		鎌倉時代 13世紀	1巻	前期
27	重文	愚昧記 寿永三年正月記	三条実房筆	平安時代 寿永3年(1184)	1巻	後期
28	重文	近衛家所領目録		室町時代 享徳3年(1454)	1巻	前期
29	重文	宮城図		鎌倉時代 元応元年(1319)	1巻	後期

III - 1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑥ 木島櫻谷の世界

会 期：2017年10月28日(土)～12月24日(日)
 前期展示：10月28日(土)～12月10日(日)
 後期展示：12月12日(火)～12月24日(日)
 概 要：明治10年、京都三条室町の商家に生まれた木島櫻谷(1877～1938)は、近代京都を代表する日本画家の一人である。日本画家・今尾景年に入門し画技を学ぶかたわら、儒学者で本草学者の山本溪愚(章夫)について漢籍などを学んだ。そうして身につけた知識と技術を活かし、文展、帝展で活躍する。やがて、体調を壊したこともあって、一人書画や試作に没頭する隠棲の生活を送るようになり、昭和13年、電車接触事故で、不慮の死を遂げる。木島櫻谷は、円山四条派の筆意をよく伝える写実に、叙情性をもりこんだ穏やかな画風で

人気を博した。本展は、泉屋博古館の特別展および櫻谷文庫と連携して木島櫻谷を紹介し、新たに京都府に寄贈された作品を中心に展示した。

出品資料：49件
 担当者：植田彩芳子

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：11月17日(金)、12月1日(金)
 午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ24名、80名

【「木島櫻谷の世界」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年	所蔵	展示期間
1	今尾景年	安宅関図	絹本着色	1幅	明治19年	京都府(京都文化博物館管理)	通期
2	今尾景年	四季花鳥図扇面画帖	紙本着色	2帖	明治30年代	京都府(京都文化博物館管理)	場面替
3	榊原文翠	牡丹図	絹本着色	1幅	明治期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
4	上田萬秋	柳蔭漁村	絹本着色	1幅	大正～昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
5	木島櫻谷	初夏・晩秋	紙本着色	6曲1双	明治36年(1903)	京都府(京都文化博物館管理)	前期
6	木島櫻谷	富士図屏風	紙本着色	6曲1双	大正期	個人蔵	後期
7	木島櫻谷	富士図	絹本着色	1面	明治期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
8	木島櫻谷	狗児図	紙本着色	1幅	明治～大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
9	木島櫻谷	富嶽図	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
10	木島櫻谷	蓬萊瑞光	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
11	木島櫻谷	鷹図	絹本墨画	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
12	木島櫻谷	孔雀図	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	前期
18	木島櫻谷	寒月	紙本淡彩	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	後期
22	木島櫻谷	放牛図	紙本墨画	1幅	大正14年(1925)	京都府(京都文化博物館管理)	後期
13	木島櫻谷	虎図	紙本墨画	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
14	木島櫻谷	白鷺図	絹本淡彩	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
15	木島櫻谷	秋野双鹿図	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
16	木島櫻谷	群禽	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
17	木島櫻谷	双鶴	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
19	木島櫻谷	月ヶ瀬	絹本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
20	木島櫻谷	夏山樵座	紙本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
21	木島櫻谷	百舌	紙本着色	1幅	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
23	木島櫻谷	僊客採芝図	絹本着色	1幅	大正15年(1926)	京都府(京都文化博物館管理)	通期
24	木島櫻谷	蓬萊山	紙本着色	1幅	大正～昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
25	木島櫻谷	白鷺	絹本着色	1幅	大正～昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
26	木島櫻谷	月下遊狸	絹本墨画	1幅	大正～昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
27	木島櫻谷	富嶽	絹本着色	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	前期
28	木島櫻谷	飛瀑	紙本墨画	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
29	木島櫻谷	雪後	紙本淡彩	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
30	木島櫻谷	芦江	紙本墨画	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
31	木島櫻谷	燕子花	紙本着色	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	後期
32	木島櫻谷	早春	紙本着色	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
33	木島櫻谷	瀑布	紙本墨画	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
34	木島櫻谷	昏秋	紙本着色	1幅	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
35	木島櫻谷	養拙帖	絹本着色	1帖	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	頁替
36	木島櫻谷	閑適帖	絹本着色	1帖	昭和4年(1929)	京都府(京都文化博物館管理)	頁替
37		木島櫻谷 今尾塾卒業証書		3枚		公益財団法人 櫻谷文庫	通期
38		今尾塾絵画展覧会作品集		1冊	明治36年(1903)	京都府(京都文化博物館管理)	通期
39	木島櫻谷	写生(フクロウ)		1冊		公益財団法人 櫻谷文庫	通期
40	木島櫻谷	写生(今尾塾写生風景)		1冊		公益財団法人 櫻谷文庫	通期
41	木島櫻谷	写生(月ヶ瀬)		1冊		公益財団法人 櫻谷文庫	通期
42	木島櫻谷	大橋松次郎宛 絵葉書帖		2冊	明治～昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	頁替
43	木島櫻谷	絵替り茶吞茶碗	磁器	10客	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
44	木島櫻谷	土瓶	磁器	1点	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
45	木島櫻谷	団扇(富士)		1点	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
46	木島櫻谷	団扇(紫陽花)		1点	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
47	木島櫻谷	団扇(鹿)		1点	大正期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
48	木島櫻谷	団扇(葡萄)		1点	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期
49	木島櫻谷	火鉢		6点	昭和期	京都府(京都文化博物館管理)	通期

⑦ 保存と修理の文化史

会 期：2018年1月5日(金)～3月4日(日)
 協 力：京都府教育庁文化財保護課、京都府立大学文学部歴史学科、一般社団法人国宝修理装演師連盟

概 要：保存や修理は、ものを伝え残すために古来連続と続けられてきた営みである。それらは時間による劣化や風化、災害をはじめとする危機への対応であり、時代や地域ごとの経済や社会のあり方、価値観、技術力によって育まれてきた大切な文化であった。本展示では京都府及び関西地方の様々な在地資料を併せて展覧し、日本における文化財保護の源流とも言える、保存と修理の歴史的営みの一端を紹介した。

資料数：72件

担当者：森 道彦

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：1月21日(日)午後1時30分～、
 2月11日(日・祝)、2月25日(日)、3月3日(土)
 午後1時～、(40分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：森道彦および京都府立大学歴史学科学生

参加者数：それぞれ51名、25名、30名、15名

[2] 国際京都学シンポジウム「歴史のなかの保存と修理」

主催：京都府、京都府立大学文学部、
 京都文化博物館

日時：3月4日(日)午前10時30分～午後5時

場所：別館ホール

パネリスト：皿井舞氏(東京国立博物館)、竹浪遠氏(京都市立芸術大学)、中野慎之氏(京都府教育庁文化財保護課)、古川攝一氏(大和文華館)、三輪眞嗣氏(京都府立大学大学院生)、森道彦(当館)、横内裕人氏(京都府立大学) ※五十音順

参加者数：147名

[3] 連続講座「文化財修理の最前線

—絵画と古文書の修理現場から—

第1回 掛軸の修理

日時：2月4日(日) 講師：岡岩太郎氏

第2回 障壁画の修理

日時：2月11日(日・祝) 講師：宇都宮正紀氏

第3回 古文書の修理

日時：2月18日(日) 講師：橋本浩氏

第4回 文化財修理の現在

日時：2月25日(日) 講師：大菅直氏

各日午前10時15分～正午、

講師はいずれも一般社団法人国宝修理装演師連盟

場所：本館3階フィルムシアター

参加者：各回115名、100名、111名、110名

【「保存と修理の文化史」展 出品資料一覧】

番号	指定	名 称	制作期	所 蔵
1	国宝	東寺宝蔵納物注文(東寺百合文書)	鎌倉時代 建保四年(1216)	京都府立京都学・歴史館
2	重要文化財	建保四年東寺五大虚空蔵法記(東寺観智院文書)	鎌倉時代(13世紀)	京都府立京都学・歴史館
3		左経記	江戸時代(17～18世紀)	京都府立京都学・歴史館
4		小右記	江戸時代(18～19世紀)	京都府立京都学・歴史館
5	国宝	東寺宝蔵焼亡日記案(東寺百合文書)	鎌倉時代 文治三年(1187)	京都府立京都学・歴史館
6		紺紙銀字華嚴経(二月堂焼経)断簡	奈良時代(8世紀)	
7		紺紙銀字華嚴経(二月堂焼経)断簡	奈良時代(8世紀)	
8		山槐記	江戸時代(17～18世紀)	京都府立京都学・歴史館
9		泉涌寺再興日記	江戸時代(17世紀)	京都・泉涌寺
10		甲子兵燹図巻模本	近代(19世紀)	京都文化博物館
11		車図巻	江戸時代(17～19世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
12		山水猿猴図屏風	江戸時代(17世紀)	
13	国宝	宝蔵破損文書等所出日記(東寺百合文書)	室町時代 応永九年(1402)	京都府立京都学・歴史館
14	国宝	学衆方第一箱重書目録(東寺百合文書)	室町時代 文安四年(1447)	京都府立京都学・歴史館
15	国宝	学衆方第二箱重書目録(東寺百合文書)	室町時代 文安四年(1447)	京都府立京都学・歴史館
16	国宝	廿一口方明応九年中反古之内用捨分文書目録(東寺百合文書)	室町時代 明応九年(1500)	京都府立京都学・歴史館
17	国宝	東寺百合文書箱	江戸時代 貞享二年(1685)	京都府立京都学・歴史館
18		誓願寺支証正文目録・誓願寺証文目録(誓願寺文書)	室町時代(16世紀)	京都・誓願寺

19		誓願寺文書	室町～江戸時代(14～17世紀)	京都・誓願寺
20		文書箱	江戸時代(17～19世紀)	京都・誓願寺
21		江家次第	室町時代(16世紀)	京都府立京都学・歴史館
22	国宝	理忠田地名主職寄進状(東寺百合文書)	室町時代 文明十八年(1486)	京都府立京都学・歴史館
23		日本歳時記	江戸時代(18～19世紀)	京都府立京都学・歴史館
24		龍宝山大徳禅寺諸寺院虫弘記	江戸時代 文政六年(1823)頃	京都府立京都学・歴史館
25		東都歳時記	江戸時代 天保九年(1838)	京都府(京都文化博物館管理)
26		人車記	江戸時代(17～18世紀)	京都府立京都学・歴史館
27		法華堂根本曼荼羅コロタイプ複製	現代(20世紀)	奈良・東大寺
28		俱舍曼荼羅修理写真帖	現代(20世紀)	奈良・東大寺
29		本朝画史	江戸時代 元禄六年(1693)	京都府立京都学・歴史館
30		大般若経	鎌倉時代(13世紀)	京都・久多自治振興会
31		経櫃	室町時代 貞和二年(1346)	京都・久多自治振興会
32		大般若経	平安～室町時代(12～16世紀)	京都・宝泉寺
33		釈迦十六善神像・弘法大師像・伝 三蔵法師像	室町時代(14～15世紀)	京都・宝泉寺
34		大般若経	平安～室町時代(12～15世紀)	京都・普門院
35		法華経曼荼羅図	鎌倉時代(13世紀)	奈良国立博物館
36		桃源遺事	江戸時代 明和五年(1768)	京都府立京都学・歴史館
37		仏涅槃図	南北朝時代(14世紀)	奈良国立博物館
38		阿弥陀来迎図修理状(誓願寺文書)	桃山時代 天正十八年(1590)、 江戸時代 宝暦三年(1753)	京都・誓願寺
39		不動明王像	南北朝時代(14世紀)	京都・今熊野観音寺
40		大内義興像	江戸時代 寛政元年(1789)	京都府(京都文化博物館管理)
41		三好長光像	近代(20世紀)	京都大学総合博物館
42		吉祥天像旧下地・表装類	奈良～室町時代(8～15世紀)	奈良・薬師寺蔵
43		明月記	江戸時代 寛文二年(1662)	京都府立京都学・歴史館
44		平等院修造勸進状	室町時代 明応九年(1500)	京都・平等院浄土院
45		宇治平等院奉加帳	江戸時代 寛文八年、 十年(1668、70)	京都・平等院浄土院
46		平等院壁画模写 上品下生	現代 昭和二十九～三十一年 (1954～56)	奈良国立博物館
47	国宝	僧弁忠家地壳券(東寺百合文書)	鎌倉時代 建久二年(1191)	京都府立京都学・歴史館
48		一代要記	江戸時代(18～19世紀)	京都府立京都学・歴史館
49		看聞日記コロタイプ複製	近代 昭和六年(1931)	京都府立京都学・歴史館
50		印紙曼荼羅図	江戸時代 延宝五年(1677)	京都・西光寺
51	重要文化財	釈迦霊鷲山説法図	鎌倉時代(13世紀)	奈良国立博物館
52	重要文化財	生駒宮曼荼羅図	鎌倉時代(14世紀)	奈良国立博物館
53		古今著聞集	江戸時代 元禄三年(1690)	京都府立京都学・歴史館
54		一ノ鳥居古額(嘉吉度)	室町時代 嘉吉元年(1441)	京都・石清水八幡宮
55		一ノ鳥居古額(慶長度)	桃山時代 慶長五年(1600)	京都・石清水八幡宮
56		百鬼夜行絵巻	江戸時代(17～18世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
57		沙石集	室町時代 長享三年(1489)	京都大学附属図書館
58		東宝記(阿刀家文書)	室町～江戸時代(15～18世紀)	京都国立博物館
59		当寺伽藍草創記・同講堂被舍利員数(阿刀家文書)	江戸時代 天保五年(1834)	京都国立博物館
60		拾古文書集 五(阿刀家文書)	江戸時代(17～19世紀)	京都国立博物館
61	国宝	両界曼荼羅等出納目録(東寺百合文書)	室町時代 永享三年(1431)	京都府立京都学・歴史館
62		光明本尊	室町時代 応永二十七年(1420)	京都・昌蔵院
63		本朝大仏師正統系図	江戸時代(17～19世紀)	京都国立博物館
64		表具法伝拾ヶ條	江戸時代 享保十二年(1727)	
65		都商職街風聞	江戸時代 元治元年(1864)	京都府立京都学・歴史館
66		新羅明神像	鎌倉時代(12～13世紀)	京都・聖護院
67		新羅明神像	江戸時代 弘化四年(1847)	京都・聖護院
68		聖徳太子絵伝	江戸～近代(19世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
69		藤原藤房像	江戸～近代(19世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
70		寺社宝物展覧目録	江戸時代 文化十四年(1817)	京都大学附属図書館
71		集古十種	江戸時代 寛政十二年(1800)	
72		平等院明治修理帖	近代 明治三十八年(1905)	京都・平等院

⑧ 京に響く彫鍛金の技 詩情溢れる生命の息吹 加藤宗巖・忠雄展

会 期：2018年3月10日(土)～5月6日(日)
 概 要：一枚の金属板を叩いて伸ばしながら形づくっ
 ていく鍛金と、鑿や鋸で金属を装飾していく
 彫金の技法を駆使しながら、生あるものへの
 温かな眼差しを詩情溢れる金工の世界で花開
 かせた加藤宗巖、忠雄の親子の作品を京都府
 への寄附を機に紹介します。

出品資料数：作品19点、図案・道具等 約100点
 担当者：洲鎌佐智子

【関連行事】

[1]作家によるギャラリートーク(加藤忠雄氏)
 日時：3月24日(土)午後2時～(30分程度)
 場所：本館2階展示室内
 参加者数：22名

[2]学芸員によるギャラリートーク
 日時：4月20日(金)午後6時～(30分程度)
 担当：洲鎌佐智子
 場所：本館2階展示室内
 参加者数：5名



「加藤宗巖・忠雄展」会場風景

【「京に響く彫鍛金の技 詩情溢れる生命の息吹 加藤宗巖・忠雄展」展 出品資料一覧】

	作家名	作品名	制作年(元号)	制作年(西暦)	所蔵
1	加藤宗巖	望郷	昭和41年	1966	京都府蔵(京都文化博物館管理)
2	加藤宗巖	猿	昭和38年	1963	京都府蔵(京都文化博物館管理)
3	加藤宗巖	とりパネル	昭和40年	1965	京都府蔵(京都文化博物館管理)
4	加藤宗巖	鷺姫	昭和54年	1979	京都府蔵(京都文化博物館管理)
5	加藤宗巖	子狐 装い	昭和57年	1982	京都府蔵(京都文化博物館管理)
6	加藤宗巖	南鐐 白孔雀香炉	昭和58年	1983	京都府蔵(京都文化博物館管理)
7	加藤忠雄	花器 求	昭和44年	1969	京都府蔵(京都文化博物館管理)
8	加藤忠雄	花挿	昭和42年	1967	京都府蔵(京都文化博物館管理)
9	加藤忠雄	心華	昭和47年	1972	京都府蔵(京都文化博物館管理)
10	加藤忠雄	心象	昭和49年	1974	京都府蔵(京都文化博物館管理)
11	加藤忠雄	花挿のある盛器	昭和52年	1977	京都府蔵(京都文化博物館管理)
12	加藤忠雄	彫金飾器	昭和55年	1980	京都府蔵(京都文化博物館管理)
13	加藤忠雄	銀飾箱 通り雨	平成14年	2001	京都府蔵(京都文化博物館管理)
14	加藤忠雄	銀蝸牛打出し香炉	平成17年	2004	京都府蔵(京都文化博物館管理)
15	加藤忠雄	銀八稜花瓶	平成19年	2006	京都府蔵(京都文化博物館管理)
16	加藤忠雄	銀置物 花の精	平成22年	2009	京都府蔵(京都文化博物館管理)
17	加藤宗巖	総研試作品 朝の花 飾り盆	不詳	不詳	京都府蔵(京都文化博物館管理)
18	加藤宗巖	総研試作品 飾額 黒豹	不詳	不詳	京都府蔵(京都文化博物館管理)
19	加藤宗巖	総研試作品 飾額 鹿	昭和36年	1961	京都府蔵(京都文化博物館管理)
20	加藤宗巖	作品下図案	不詳	不詳	作家蔵
21	加藤宗巖	作品のエスキース	不詳	不詳	作家蔵
22	加藤忠雄	彫金工程見本	不詳	不詳	作家蔵
23	加藤忠雄	スケッチブック	不詳	不詳	作家蔵
24	加藤忠雄	作品ラフスケッチ	不詳	不詳	作家蔵
25	加藤忠雄	鍛金、彫金道具	不詳	不詳	作家蔵
26		加藤家に伝わる鍔、目貫	江戸時代後期	江戸時代後期	作家蔵

⑨ 洛陽三十三所3 —ゆかりの人と寺宝—

会 期：2018年3月10日(土)～5月6日(日)

前期展示：3月10日(土)～4月8日(日)

後期展示：4月11日(水)～5月6日(日)

概 要：平安時代以降、西国三十三所等の観音菩薩巡礼が盛んとなり、京都(洛陽)においても三十三の観音を対象とする巡礼が行われるようになった。応仁の乱や明治維新による衰退もあったが、平成17年(2005)に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、再興されることとなった。再興から三度目となる今年度は、六つの札所に伝わるゆかりの人物に関わる寺宝を中心に展示した。

協 力：平成洛陽三十三所観音霊場会

出品資料数：31件

担当者：長村祥知

【関連行事】

[1]開白記念法要

日時：3月10日(土)午前10時30分～11時

場所：本館2階展示室内

[2]ギャラリートーク

日時：4月13日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：長村祥知

参加者数：21名

【「洛陽三十三所3 —ゆかりの人と寺宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	制作年・日付等	員 数	所 蔵	展示期間
1	聖徳太子像 伝土佐光信画	室町時代	1幅	六角堂 頂法寺	通期
2	後陽成天皇宸翰名号 観世音菩薩・地藏菩薩・毘砂門天王	桃山～江戸時代	3幅対	六角堂 頂法寺	通期
3	六角堂頂法寺縁記	江戸時代	1巻	六角堂 頂法寺	通期 (巻き替え)
4	関東台覧立花砂之物図	江戸時代 延享3年(1746)	1巻	六角堂 頂法寺	前期
5	勝仙院増堅売券	永禄元年(1558)3月3日	1通	六角堂 頂法寺	通期
6	饅頭屋町町衆連署状	天正13年(1585)6月23日	1通	六角堂 頂法寺	通期
7	木造阿弥陀如来坐像	平安時代	1軀	善能寺	通期
8	象海宗師像	江戸時代	1幅	今熊野観音寺	前期
9	渡唐天神像	室町～桃山時代	1幅	今熊野観音寺	後期
10	三宝荒神像	南北朝時代	1幅	今熊野観音寺	前期
11	今村藤左衛門尉并同源左衛門尉言上 状案	永正12年(1515)8月日	1通	今熊野観音寺	通期
12	室町幕府奉行人連署奉書	永正13年(1516)8月9日	1通	今熊野観音寺	通期
13	室町幕府奉行人連署奉書案 室町幕府奉行人連署奉書案	永正13年(1516)8月9日 永正14年(1517)7月13日	1通	今熊野観音寺	通期
14	室町幕府奉行人連署奉書案 (紙背)山城国守護奉行人連署状	永正13年(1516)8月21日 永正13年(1516)9月16日	1通	今熊野観音寺	通期
15	山城国守護奉行人杉興重打渡状	永正13年(1516)9月10日	1通	今熊野観音寺	通期
16	山城国守護奉行人連署奉書案	永正13年(1516)9月26日	2通	今熊野観音寺	通期
17	室町幕府奉行人連署奉書案 室町幕府奉行人連署奉書案	(永正14年=1517)9月28日 (永正14年=1517)9月28日	1通	今熊野観音寺	通期
18	伝俊苜筆断簡	鎌倉時代	1葉	今熊野観音寺	後期
19	正重院廟所等記録	江戸時代	1帖	法音院	後期
20	本多道喜像(剛毅折衝相)	江戸時代	1幅	法音院	前期
21	本多道喜像(念仏三昧相)	江戸時代	1幅	法音院	後期
22	因幡堂縁起絵巻	江戸時代 万延2年(1861)	3巻	平等寺(因幡堂)	通期 (巻き替え)
23	厨子入 十一面観音立像	鎌倉時代	1軀	平等寺(因幡堂)	通期
24	高倉天皇御一代記	江戸時代 寛永9年(1632)	1冊	平等寺(因幡堂)	通期
25	敵島御幸道記 新玉津島七松子(北村季吟)筆	江戸時代 元禄2年(1689)	1冊	平等寺(因幡堂)	前期
26	高倉院昇霞記 北村季吟筆	江戸時代 元禄9年(1696)	1冊	平等寺(因幡堂)	後期
27	釈迦十六善神像 伝兆殿司画	室町時代	1幅	平等寺(因幡堂)	後期
28	無人如導像	桃山～江戸時代	1幅	東向観音寺	後期
29	厨子入 加僧観音坐像	江戸時代	1軀	雨宝院	通期
30	洛陽三十三観音納札	江戸時代	1枚	雨宝院	通期
31	清水寺参詣図屏風	江戸時代	6曲1隻		通期

裂織(旧丹後町中浜 明治末～大正時代 京都府蔵・
京都文化博物館管理)

第3章 京のまつりと伝統文化(16点)

「やすらい祭」(石井行昌撮影資料写真 明治末～大正時代)

「葵祭・路頭の儀」(黒川翠山撮影写真資料 明治時代後期)

「祇園祭稚児の社参」(矢野家写真資料 大正時代)

「千百年記念祭」(石井行昌撮影写真資料 明治28年(1895))

※いずれも京都府立京都学・歴史館「京の記憶アーカイブ」から

第4章 アクション!～映画の都・京都の風景～(15点)

「新京極」(黒川翠山撮影資料写真 昭和11年(1936))

※京都府立京都学・歴史館「京の記憶アーカイブ」から

「尾上松之助絵葉書アルバム」(大正時代、京都文化博物館蔵)

『忠次旅日記 御用篇』スナップ写真(昭和2年(1927) 京都文化博物館蔵)

『新納鶴千代』山田五十鈴スナップ写真(昭和10年(1935年) 京都文化博物館蔵)

終章 カメラ越しに注がれたまなざし(5点)

「石井行昌」(石井行昌撮影写真資料 明治末～大正時代)

「子どもたちの遊び」(石井行昌撮影写真資料 明治時代)

※京都府立京都学・歴史館「京の記憶アーカイブ」から

【出品作品数】 90点

【関連行事】

[1]記念講演会「古写真を読む～制作者の視点から～」

日時：7月8日(土)午前10時30分～正午

会場：本館3階フィルムシアター

講師：佐藤 博一 氏(京都造形芸術大学教授)

参加者数：33名

[2]おとなのコロタイプ・ワークショップー写真編ー

日時：8月20日(日) 1回目 午前10時30分～

2回目 午後2時30分～

会場：別館2階講義室

定員：各回8名(高校生以上)

参加費：5,000円(但し総合展示入館券が必要)

協力：株式会社便利堂

参加者数：それぞれ7名、9名

[3]ギャラリートーク

日時：7月8日(土)午後2時～

7月21日(金)、8月4日(金)、8月25日(金)

午後6時～

場所：本館3階総合展示室内

担当：橋本 章、大矢敦子、植田憲司

参加者数：それぞれ10名、21名、20名、18名



「近代京都へのまなざし～写真にみる都の姿～」展示風景



「近代京都へのまなざし～写真にみる都の姿～」展示風景

◆ いずれも、場所：別館2階講義室 参加費：500円
(希望者向けに、午後3時半から展示室内にて
ギャラリートークを実施)

① 草創期の考古学とアートのつながり
「京都の画家と考古学
—太田喜二郎と濱田耕作—」展を題材に

日時：2017年7月1日(土)午後1時30分～午後3時
講師：村野正景 参加者数：14名
概要：2016年度の「アートと考古学展」では、両者の
コラボレーションによる様々な取組や歴史を紹介し、
好評をいただいた。その展覧会で注目を集めた作品の
一つが、日本考古学の父と呼ばれる濱田耕作と近代京
都の洋画界を牽引した太田喜二郎の親交が生み出した
「石舞台古墳発掘見学絵巻」である。他にもごく近年に
再発見された彼らの様々な作品がある。これらの作品
を読み解きながら、近代考古学と芸術の歴史と面白さ
を紹介した。

② 近代の祇園祭のうつりかわりについて
～「写真にみる都の姿」から～

日時：2017年7月23日(日)午後1時30分～3時
講師：橋本 章 参加者数：35名
概要：祇園祭は時代とともにその姿を少しずつ変えな
がら現在まで受け継がれてきたが、近代以降、写真の
登場によって祇園祭の変化はよりリアルに記録される
ようになった。本講座では明治・大正・昭和初期に撮
影された祇園祭の様子を紹介しながら、その変遷の過
程を追った。またそのほか京都の様々な場面をとらえ
た古写真も紹介した。

③ 木島櫻谷の新発見作品群について
～「木島櫻谷の世界」展を中心に～

日時：2017年11月23日(木・祝) 午後1時30分～3時
講師：植田彩芳子 参加者数：34名
概要：木島櫻谷(1877～1938)は、近代京都画壇の俊
英で、竹内栖鳳の次世代旗手として、文展、帝展で活
躍した日本画家である。櫻谷の生誕140年にあたる本
年は、泉屋博古館でも特別展「木島櫻谷」を開催、当館
でも総合展示「木島櫻谷の世界」を開催した。当館の展
示では、櫻谷の生家の近くにあった旧家・大橋家から
新たに発見され、寄贈された作品群を中心に紹介した。
本講座では、それらの作品群の分析を通して、櫻谷の
画業を見直した。

④ 日本の修理文化

日時：2018年1月21日(日)午後1時30分～3時
講師：森道彦 参加者数：22名
概要：ものを伝え残そうとする意識や保存技術の工夫
は、古来さまざまな形で存在する。本講座では、平安
から江戸時代にかけて各地で実践されてきた、保存や
修理にまつわる出来事や古の職人たちの技術、ものと
その歴史に向き合った地域の人々の歩みなどについて
紹介した。

Ⅲ-2 特別展示

Ⅲ-2 特別展示

① いつだって猫展

会 期：2017年4月29日(土・祝)～6月11日(日)
[39日／44日]

休館日：月曜日(ただし5月1日は臨時開館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,300円(1,100円)／大高生1,000円
(800円)／中小生500円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、読売テレビ

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：森 道彦

入場者：38,996人(1日平均 999.9人)

【概要】

猫は、古くから日本人の生活に寄り添ってきた動物である。愛らしい猫の姿は古来、多くの物語や絵に描かれ表されてきたが、特に幕末明治にかけては現代さながらの「猫ブーム」がたびたび到来し、歌舞伎や浮世絵を彩った。猫にまつわる江戸時代人の物語やイメージは楽しいもの、愛らしいもの、妖しいもの、怖いものなど様々で、その背景には猫が人々にもたらした生活の恩恵と苦闘、猫とともに歩んだ昔の人々の生き方と歴史が様々に込められている。本展では、特に猫をモチーフとした浮世絵や招き猫を取り上げながら、かつて人々を熱狂させた江戸の「猫ブーム」の諸相を紹介した。

【展覧会の構成】

第1章 江戸の暮らしと猫

第2章 化ける猫

第3章 人か猫か、猫か人か

第4章 福を招く猫

第5章 おもちゃ絵になった猫

【主な出品作品】

歌川広重《浮世画譜》嘉永～安政年間(1848～1860)頃

歌川国芳《荷宝蔵壁のむだ書》嘉永元年(1848)

歌川国芳《猫の当字》天保13～14年(1842～1843)

【出品作品数】

205点

【関連行事】

[1] 講演会「江戸の猫ブーム」

日時：5月6日(土)午前10時30分～正午

講師：津田卓子氏(名古屋市博物館)

会場：本館3階フィルムシアター

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：90名

[2] 講演会「ダヤンと私—好きなことを仕事にする—」

日時：5月13日(土)午前10時30分～正午

講師：池田あきこ氏

会場：本館3階フィルムシアター

参加費：2,500円(展覧会入場券・グッズ付き)

参加者数：150名



「いつだって猫」ちらし

[3] ワークショップ「招き猫絵付け体験」

日時：5月21日(日)

午前10時30分～正午、午後2時30分～4時

会場：3階展示室内やすらぎコーナー

参加費：500円(このほか当日の展覧会入場券が必要)

参加者数：それぞれ13名、15名

[4] ギャラリートーク

日時：5月5日(金祝) 午後2時～、

5月19日(金)、6月2日(金) 午後6時～
(30分程度)

場所：4階展示室内

担当：森 道彦

参加者数：それぞれ57名、55名、48名

② 世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展

会 期：2017年7月1日(土)～9月18日(月・祝)

[70日/80日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

※7月24日(月)は臨時開館

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円(800円)／高大生600円(400円)

小中生300円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞

特別協力：マグナム・フォト

後 援：アンスティチュ・フランセ関西、(公社)京都

府観光連盟、(公社)京都市観光協会、NHK

京都放送局、KBS京都、エフエム京都

企画制作：株式会社コンタクト

担当者：森脇清隆、植田憲司

入場者：30,880人(1日平均 441人)

【概要】

1947年、ロバート・キャパ、アンリ・カルティエ=ブレッソン、ジョージ・ロジャー、デビッド・シーモアによって「写真家自身によってその権利と自由を守り、主張すること」を目的として写真家集団・マグナムは結成された。以後、マグナムは「人間、写真家としての独立精神」、「報道と芸術の個性的融合」をめざし、20世紀写真史に大きな足跡を残す多くの写真家を輩出し、世界最高の写真家集団として今も常に地球規模で新しい写真表現を発信し続けてた。

本展は、2014年12月から翌年4月までパリ市庁舎で開催され、大きな反響を呼んだ展覧会の海外巡回展として企画。マグナム・フォト設立70周年にあたり、60万点に及ぶ所属写真家の作品の中から、パリをテーマにした作品131点を選び展観した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第一部 マグナム・ピフォア・マグナム 1932-1944

マグナムの創設メンバーであるロバート・キャパやアンリ・カルティエ=ブレッソン、デビッド・シーモアはマグナム設立以前から、時代の証言者として、歴史に名を残すことになる写真をすでにとらえていた。

第二部 復興の時代 1945-1959

パリ解放の勝利に沸き立つ興奮がおさまり、冷静になった人々が目の当たりにしたのは戦争で荒廃した

MAGNUM PHOTOS AT 70
PARIS MAGNUM



世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年

パリ・マグナム写真展

2017年7月1日(土)～9月18日(月)

パリの魅力
×
写真の魔力

開館時間：午前10時～午後6時
本展覧会開催期間：2017年7月1日(土)～9月18日(月) 18時～21時
※7月24日(月)は臨時開館
〒600-8501 京都府京都市中京区西ノ京二丁目1番1号 京都文化博物館
TEL:075-222-0888 FAX:075-222-0889
http://www.kyoculturalmuseum.jp



「パリ・マグナム写真展」ちらし

街の姿だった。経済的にも厳しい状況が続く中、新しい体制が築かれて行く姿を紹介する。

第三部 スウィング・シックスティーズ 1960-1969
ミニスカート、ロック・ミュージック、ポップアート、ヌーベルヴァーグ…、60年代に入ると新しい世代が台頭、世界を席卷する。中世以来、「パリの胃袋」とされていたパリ中央卸売市場「レ・アール」の郊外移転計画は変わりゆくパリを象徴している。社会に対する若者たちの怒りは、カルチェ・ラタンに端を発する学生運動という形で爆発し、ヴェトナム戦争反対運動と相俟って世界に波及した。

第四部 多様化の時代へ 1970-1989
社会秩序の回復を求める声が高まる一方、慣習からの脱却を求める動きも活性化する。戦後の国際社会で重要な哲学的支柱を担ったジャン=ポール・サルトルはパリのアパートの一室で左派日刊紙「リベラシオン」を創刊し、男女平等を求める女性たちは街でデモ行進を繰り広げ、映画や演劇の世界でも新たな才能がパリで活躍し始める。社会が多様化する中、写真家たちの表現方法も多様化してゆく。

第五部 解体の時代 1990-2014
現代においてもパリは多くの人を惹きつけてやまない大都市であり続けている。一方で、現代を呼吸する写真家たちが提示するこの街のイメージからは、かつての「花の都」の面影を見つけることは難しくなっている。写真というメディアが、技術の発展とともに、より写真家自身を表現するものになってきたこととも無縁ではないだろう。また、インターネットの普及は「写真」そのものの在り方自体に大きな変革を迫ってきている。

<出品作家 / 34名>

ロバート・キャパ、アンリ・カルティエ=ブレッソン、デビッド・シーモア、フィリップ・ハルスマン、ハーバート・リスト、エリオット・アーウィット、バート・グリーン、エリック・レスリング、インゲ・モラス、マルク・リプー、ウェイン・ミラー、ルネ・ブリ、ブルース・デビッドソン、ニコラ・ティコモロフ、セルヒオ・ラレイ、ブルーノ・バルベイ、レオナード・フリード、ジョセフ・クーデルカ、リチャード・カルバー、ギョル=ケレック、レイモン・ドゥパルドン、マルティヌ・フランク、アバス、ハリー・グリエール、パトリック・ザックマン、マーティン・パー、ゲオルギョ・ピンカソフ、アレックス・マヨーリ、クリストファー・アンダーソン、ジェローム・セッシーニ、リチャード・カルバー、アレッサンドラ・サンギネッティ、パオロ・ペレグリン、トーマス・ドボルザック

【出品作品数】

137点

【関連行事】

[1] 講演会 「マグナム70年の歩み」

日時：7月1日(土) 午前10時30分～正午
講師：小川潤子氏(マグナム・フォト東京支社)
会場：本館3階フィルムシアター
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：83名

[2] 平間至・橋本拓也ライブ・フォトセッション

日時：8月11日(金・祝) 午前10時30分～正午
講師：平間至氏(写真家)、橋本拓也氏(ダンサー)
会場：本館3階フィルムシアター
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：140名

[3] コンサート「フランス6人組、エリック・サティ ーロマン派音楽から印象主義音楽、 そして新古典主義へ」

日時：8月12日(土) 午後2時～3時30分
演奏者：京都市立芸術大学音楽学部学生(fl 小林千晶、Ob 葛城 裕也、Cl 岡本 昇大、Hr 齊藤 日菜子、Fg 高島 翔大、Pf 濱田千幸)
協力：京都市立芸術大学キャリアデザインセンター
会場：別館ホール
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：95名

[4] ワークショップ「フィルム写真入門

やってみよう現像とプリント!」

日時：8月19日(土) 午前10時～午後4時30分
企画協力：花中舎伊藤組
会場：別館2階講義室
参加費：1,000円(このほか本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：12名

[5] ギャラリートーク

日時：7月14日(金) 午後6時30分～(30分程度)
場所：4階展示室内
担当：森脇清隆
参加者数：12名

③ ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたくらみ ―日本近代絵画との出会い― 展

会 期：2017年10月3日(火)～12月3日(日)
[54日／62日]
休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)
会 場：4階特別展示室・3階総合展示室
入場料：一般1,300円(1,100円)／大高生900円(700円)
中小生400円(300円)
*()内は前売券、及び20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞、日本経済新聞社
後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都
協 力：ウッドワン美術館
企画協力：アートワン
担当者：植田彩芳子
入場者：32,916人(1日平均 609.6人)

【概要】

平成8年に開館した公益財団法人ウッドワン美術館は、約1,000点の充実した美術作品を所蔵・展示することで知られる。本展はその中から近代日本絵画の名品を選びすぎり、それらを主題ごとに展示することで、日本近代の絵画の見方や画家の工夫などわかりやすく紹介することを目的とした。

はじめに「日本画と洋画」といった日本の近代絵画を二分する大きなくりを紹介した上で、「画家は何を描いたか」「いかに描いたか」という問題をテーマごとに考えていった。作品を日本画・洋画を問わずに並べ、比較することで、作品および作家の特色を浮き彫りにした。さらには、説明パネルを掲出し、理解に努めた。

本展で扱う作家は、橋本雅邦、高橋由一に始まり、日本画では横山大観、上村松園、鏑木清方、福田平八郎、徳岡神泉など、洋画では浅井忠、黒田清輝、藤田嗣治、梅原龍三郎、安井曾太郎、岸田劉生、鴨居玲など日本近代絵画史を彩る有名画家である。その作品の中でも質の高い作品を選びすぎり、紹介した。とりわけ、黒田清輝の「木かげ」、岸田劉生の「毛糸肩掛せる麗子肖像」、上村松園「舞仕度」などは注目される作品となった。

本展では日本近代絵画史を代表する画家の名品86点を紹介し、それらを単に時代ごとにたどるのではなく、主題ごとに鑑賞することで、それぞれの作品および画家、それをとりまく背景への深い理解を導いた。日本近代絵画をめぐる豊かな世界への入口となることを目指した。

【展覧会の構成】

プロローグ 日本画と洋画

- (1)歴史を描く
- (2)裸婦を描く
- (3)女性を描く
- (4)人物群像を描く
- (5)富士山を描く
- (6)山水・風景を描く
- (7)動植物を描く

エピローグ ウッドワン美術館のご紹介

【主な出品作品】

黒田清輝「木かげ」、岸田劉生「毛糸肩掛せる麗子肖像」、上村松園「舞仕度」など

【出品作品数】

86点



ウッドワン美術館コレクション「絵画の愉しみ、画家のたくらみ ―日本近代絵画との出会い― 展」ちらし

【関連行事】

[1] 講演会「日本近代絵画の愉しみ」

日時：10月14日(土)午前10時30分～正午
講師：植田彩芳子(当館学芸員)
会場：当館3階フィルムシアター (定員170名)
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者：120名

[2] 特別講演会「日本美術とモード」

日時：10月21日(土)午前10時30分から～正午
講師：宮下規久朗氏(神戸大学教授)
会場：当館3階フィルムシアター (定員170名)
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：75名

[3] 特別イベント「桂そうばのアート・トーク×落語」

日時：11月11日(土)午後2時～3時まで
出演：桂そうば(落語家)
聞き手：植田彩芳子(当館学芸員)
会場：別館ホール(定員200名)
参加費：1,000円(税込)
参加者数：50名

[4] ギャラリー・トーク

日時：10月20日(金)、11月10日(金)
各日午後6時～(30分程度)
場所：3・4階展示室内
担当：植田彩芳子
参加者数：それぞれ52名、36名

III - 2 特別展示

④ 便利堂創業130周年記念 至宝をうつす—文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ—

会 期：2017年12月16日(土)～2018年1月28日(日)

[32日/44日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)、
12月28日～1月3日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円(800円)/大高生700円(500円)

※中学生以下は無料

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、便利堂

特別協力：国立歴史民俗博物館

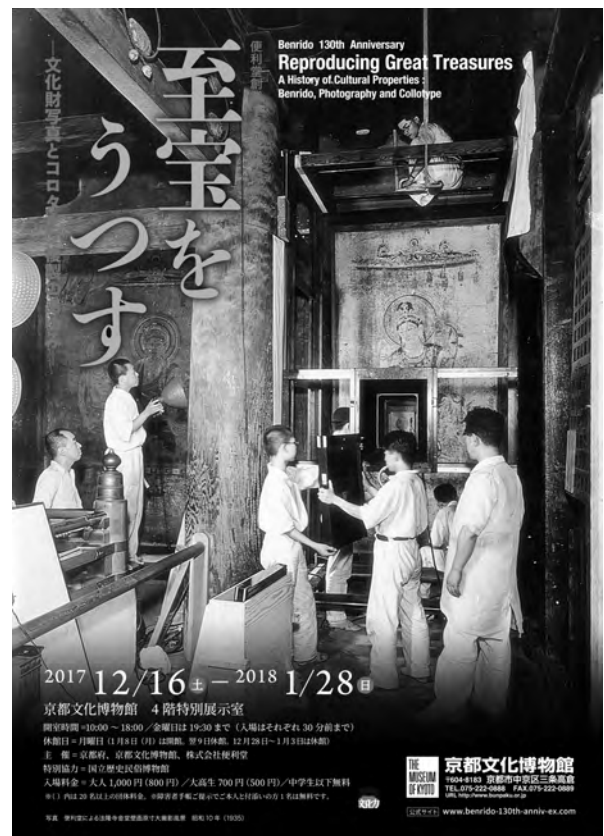
後 援：文化庁、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS
京都、エフエム京都

担当者：長村祥知

入場者：9,725人(1日平均 303.9人)

【概要】

我が国は先人たちの手によって伝えられた文化財—いわゆる「伝世品」が数多く遺されている国であり、その文化財の中には『日本書紀』や『源氏物語』などのように「写本」として伝えられているものが少なからずある。写真技術が生まれた近代以降は、人の手に代わってカメラによって文化財が写され、写真をもとにした複製物が「写本」として共有されるようになった。その複製技術のひとつがコロタイプである。コロタイプは撮影された写真をそのまま原版とする印刷技法で、自



「便利堂創業130周年記念 至宝をうつす—文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ—」ちらし

然な濃淡や階調の表現に優れており、顔料インキの保存性の高さから国宝・重要文化財の絵画や書跡などの複製に利用され、文化財を後世に伝える役割を果たしてきた。

明治20年(1887)に京都の地で創業し、2017年に創業130周年を迎えた美術印刷の老舗「便利堂」は、創業以来、美術図書の出版、美術品や歴史史料の撮影、貴重な文化財の複製づくりに携わってきた。

本展では、初公開となる高松塚古墳壁画の全面複製や、戦前に制作された法隆寺金堂壁画複製など、今日では原本から失われた往時の美しさを鑑賞することができる資料の他に、模型・カメラ・出版物・現代作家の写真作品や映像など、多種多様な資料を展示した。複製であるがゆえに、原本では実現不可能な明るい空間や露出での展示も可能となった。

【展覧会の構成と主な出品作品】

序章 うつす文化

第1章 文化財の撮影とコロタイプ複製

- 1 文化財の写真撮影の歴史
- 2 明治時代以降にはじまる美術書の写真図版と歴史史料の影印本
- 3 便利堂による文化財撮影とコロタイプ影印本

[参考展示]

- ・写真術の伝来と研究
- ・写真師の登場とその活躍
- ・ガラス乾板の登場と文化財の記録
- ・フィルムの登場
- ・ポジフィルムとネガフィルム

4 コロタイプの歴史

5 なぜ文化財複製にコロタイプが用いられているのか

第2章 よみがえる至宝

法隆寺金堂壁画

- 1 便利堂写真工房の歴史
- 2 法隆寺「昭和の大修理」と金堂壁画原寸大撮影事業
- 3 法隆寺金堂壁画の概要
- 4 原寸大ガラス乾板から原寸大コロタイプへ
- 6 「昭和の模写」事業と壁画の罹災。戦後の「再現模写」事業、そして重要文化財へ
- 7 法隆寺金堂壁画 保存略年表

高松塚古墳

8 高松塚古墳壁画

9 高松塚古墳撮影秘話

第3章 コロタイプによる文化財複製の活用

- 1 展示・研究のための複製事業《正倉院文書》
- 2 記憶の形を副本にして遺す複製事業《ユネスコ

「世界の記憶」》

- 3 危険分散のための複製事業《宮内庁書陵部の複製》
- 4 貴重な文化財をいつでも手許に《複製出版文化の広がり》
- 5 お身代わりとしての複製事業《日蓮筆 臨滅度度時大曼荼羅》
- 6 複製としての里帰りと元の姿の再現《光琳・抱一筆 両面屏風》

終章 コロタイプの明日

- 1 コロタイプとは
- 2 アナログとデジタルの融合
法隆寺金堂壁画フルカラーコロタイプ複製への取り組み
- 3 現代社会における職人技の世界：魂を込めた「ものづくり」
- 4 コンテンポラリーアートとコロタイプ
- 5 グローバルなコロタイプ：日本から世界へ発信《HARIBAN AWARD》
- 6 便利堂コロタイプ研究所の活動：コロタイプアカデミー
- 7 手軽に美術を日常に—コロタイプによる美術商品

【出品作品数】

62件

【関連行事】

- [1] 記念講演会(1)「文化財写真と歴史学—歴史史料の複製とコロタイプ印刷の関係から」
日時：12月23日(土・祝) 午前10時30分～正午
講師：谷昭佳氏(東京大学史料編纂所技術専門職員)
会場：本館3階フィルムシアター
参加者数：85名
- [2] 記念講演会(2)「文献資料の書写と複製」
日時：2018年1月13日(土) 午前10時30分～正午
講師：長村祥知(当館学芸員)
会場：本館3階フィルムシアター
参加者数：40名
- [3] 文化財複製シンポジウム
日時：2018年1月7日(日) 午後1時30分～4時
会場：別館ホール
基調講演1「模写・複製の理念と意義
—絵画模写をめぐる—」
講師：朝賀浩氏(文化庁文化財部美術学芸課
主任文化財調査官)
基調講演2「美の記憶—封印された姿と時間—」

講師：村上隆氏(京都美術工芸大学副学長)
 座談会「うつす」文化の未来
 ー変わるものと変わらないものー
 パネリスト：朝賀浩氏、村上隆氏、長村祥知
 司会進行：西村寿美雄(便利堂社長室室長)
 参加者数：145名

[4] ワークショップ(1)「コロタイプ手刷り体験」
 日時：2018年1月20日(土) 午後1時30分～3時
 講師：山本修(便利堂コロタイプ工房長)
 会場：別館2階講義室
 参加者数：21名

[5] ワークショップ(2)「高松塚古墳壁画を撮る」

日時：2018年1月27日(土) 午後1時30分～3時
 講師：本城克彦、山内崇誠、岩村孝(便利堂写真技師)、大八木威男氏(便利堂写真技師OB)
 会場：別館2階講義室

参加者数：32名

[6] ギャラリートーク

日時：2017年12月23日(土・祝)、
 2018年1月20日(土)、1月27日(土)
 いずれも午後1時30分～

場所：4階展示室内

担当：長村祥知、西村寿美雄

参加者数：それぞれ50名、55名、60名

III - 2 特別展示

⑤ 京都府新鋭選抜展2018—Kyoto Art for Tomorrow—

会 期：2018年1月20日(土)～2月4日(日)
 [14日/16日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室

入場料：一般500円(400円)/大学生400円(320円)
 高校生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都工芸美術作家協会、アンスティチュ・フランセ関西、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：森 道彦

入場者：35,723人(1日平均 2,551.6人)

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、その創造的な作品を京都から積極的に発信しようとする企画である。別館ホールでは京都で学び、ヴェネチア・ビエンナーレをはじめ国際的に活躍する美術家、塩田千春氏による特別出品作「胡蝶の夢」を特別展示した。



「京都府新鋭選抜展2018—Kyoto Art for Tomorrow—」ちらし

【出品作家】

青木聡子、石橋志郎、井出本貴子、乾榮里子、岩井晴香、太田夏紀、梶浦隼矢、合掌楓、釜匠、岸雪絵、金サジ、久保木要、黒沢理菜、黒宮菜菜、小杉侑未、榊原太朗、佐野暁、品川美香、品川亮、杉谷一考、高崎洋祐、田中克典、谷内春子、柞磨祥子、中村潤、西久松友花、西久松綾、野上徹、長谷川由貴、福田未来帆、藤井俊治、藤岡美代、藤部恭代、松本和子、松本央、三宅佑紀、宮本大地、村上恵、村田彩、八木佑介、山岡明日香、山西杏奈、山本あずみ、山本雄教、若林亮

【特別出品作家】

塩田千春 インスタレーション「胡蝶の夢」
1972年、大阪府生まれ。ベルリン在住。生と死という人間の根源的な問題に向き合い、「生きることは何か」、「存在とは何か」を探求しつつ、その場所やものに宿る記憶といった不在の中の存在感を糸で紡ぐ大規模なインスタレーションを中心に、立体、写真、映像など多様な手法を用いた作品を制作。2015年、第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表として選出される。主な個展に、KAAT神奈川芸術劇場(16年)、スミソニアン博物館アーサー・M・サックラー・ギャラリー(14年)、高知県立美術館(13年)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(12年)、国立国際美術館(08年)など。また、奥能登国際芸術祭(17年)、シドニー・ビエンナーレ(16年)、釜山ビエンナーレ(14年)、瀬戸内国際芸術祭(11年)な

どの国際展にも多数参加。2018年2月に、舞台美術を手がけた細川俊夫氏のオペラ『松風』が東京新国立劇場にて日本初演を迎える。

【出品作品数】

45点、特別出品作1点

【関連行事】

[1]特別出品作家による作品紹介

日時：1月20日(土)午後1時～1時30分

担当者：塩田千春氏

参加者数：85名

[2]出品作家によるギャラリー・トーク

日時：1月28日(日)、2月3日(土)

午後1時～2時30分

場所：3階展示室内

参加者数：それぞれ66名、75名

⑥ ターナー 風景の詩

会期：2018年2月17日(土)～4月15日(日)

[50日／58日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,500円(1,300円)／大高生1,200円(1,000円)／中小生500円(400円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBS、京都新聞、スコットランド国立美術館群

後援：ブリティッシュ・カウンシル、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：林 智子

入場者：83,012人(1日平均 1,660人)

【概要】

ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー(1775-1851)は、イギリスで最も偉大な画家であるのみならず、風景画の歴史のなかで最も独創的な画家のひとりである。卓越した技法によって、嵐の海景、崇高な山、穏やかな田園風景など、自然の多様な表情を描くとともに、歴史風景画にも取り組み、76年の生涯で多くの作品を残した。光と空気に包まれた革新的な風景表現は、今日においても多くの芸術家にとって、インスピレーションの源になっている。本展覧会は、スコットランド国立美術館群を中心としてイギリス国内20館、郡山市立美術館を中心として日本国内の5館の協力を得て実現した展覧会。出品作はスコットランド国立美術館群などイギリス各地と日本国内の美術館から選りすぐった油彩画および水彩画75点(うち2点

は半期のみの公開)、郡山市立美術館および国内の個人蔵の版画作品112点。計約190点の作品を「地誌的風景画」「海景―海洋国家に生きて」「イタリア―古代への憧れ」「山岳―あらたな景観美をさがして」の4章構成で紹介した。なお油彩画および水彩画計75点のうち約50点が国内初公開であった。

【出品作品数】

188点

【関連行事】

[1] 講演会「風景の詩：ターナーの絵画」

日時：2月17日(土)午前10時30分～正午

会場：本館3階フィルムシアター (定員170名)

講師：富岡進一氏(本展覧会日本側監修者、郡山市立美術館主任学芸員)

参加者数：130名

[2] 英国式紅茶の淹れ方教室

～ターナーに思いを寄せた空間で過ごすひととき～

日時：3月11日(日) 午前10時30分～11時30分

午後2時30分～3時30分

会場：別館2階講義室

講師：福田万弓氏(京都らしい紅茶教室「ティージュルノ」代表)

参加費：1,500円

参加者数：合計37名

[3] 水彩画教室「思い出の風景を水彩画で描こう

―ターナーのように―

日時：3月25日(日)午後1時30分～3時30分

会場：本館3階やすらぎコーナー

講師：鶴飼雅樹氏(日本画家)

参加費：500円

参加者数：7名

[4] ギャラリートーク

日時：2月23日(金)、3月23日(金)、4月6日(金)

午後6時より(ただし4月6日は追加開催)

会場：3・4階展示室内

担当：林 智子

参加者数：それぞれ60名、72名、52名

[5] 映画「ターナー、光に愛を求めて」特別上映

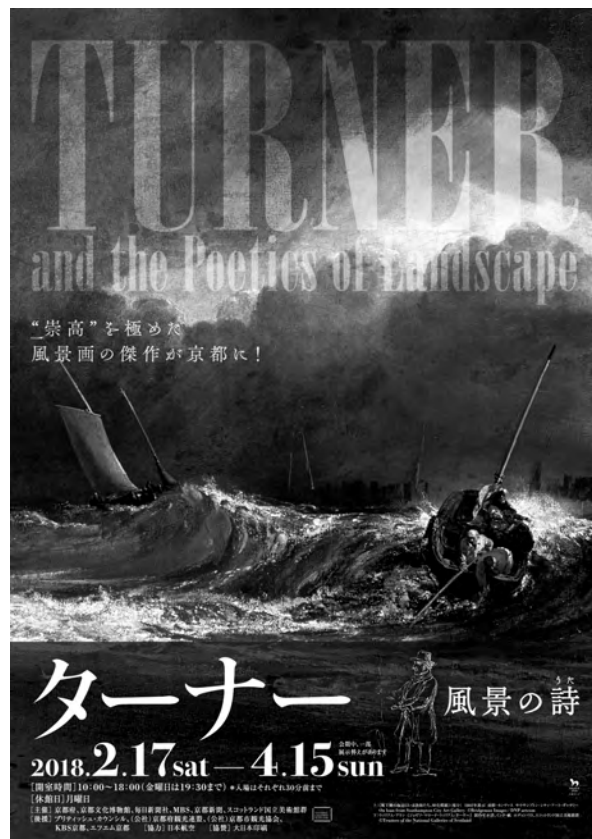
日時：3月20日(火) 午後6時30分～、

3月21日(水・祝) 午後1時30分～、午後5時～

会場：本館3階フィルムシアター

参加費：2,000円(本展入場券付)

参加者数：それぞれ41名、143名、22名



「ターナー 風景の詩」ちらし



「ターナー 風景の詩」会場風景

*2017(平成29)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
戦国時代展 - A CENTURY of DREAMS -	2017.4.1(2.25)～4.16	14 (44)	13,726 (47,430)	980	共催
いつだって猫展	2017.4.29～6.11	39	38,996	1,000	共催
パリ・マグナム写真展	2017.7.1～9.18	70	30,880	441	共催
ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ	2017.10.3～12.3	54	32,916	610	共催
便利堂130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	2017.12.16～2018.1.28	32	9,725	304	共催
京都府新鋭選抜展2018 - Kyoto Art for Tomorrow -	2018.1.20～2.4	14	35,723	2,552	委託
ターナー 風景の詩	2018.2.17～3.31(4.15)	37 (50)	55,184 (83,012)	1,491	共催
計7件		260	217,150	835	

※()内は、展覧会の会期全部の日数及び入場者数

*2017(平成29)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2017.5.5	いつだって猫展	ギャラリートーク	森道彦(当館学芸員)
5.6	いつだって猫展	講演会「江戸の猫ブーム」	津田卓子氏(名古屋市博物館学芸員)
5.13	いつだって猫展	講演会「ダヤンと私 一好きなことを仕事にする」	池田あきこ氏
5.19	いつだって猫展	ギャラリートーク	森道彦(当館学芸員)
5.21	いつだって猫展	ワークショップ「招き猫絵付け体験」オリジナル招き猫を作ろう!	なし
6.2	いつだって猫展	ギャラリートーク	森道彦(当館学芸員)
7.1	世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展	講演会 「マグナム70年の歩み」	小川潤子氏(マグナム・フォト東京支社)
7.14	世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展	ギャラリートーク	森脇清隆(当館学芸員)
8.11	世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展	平間至・橋本拓也ライブ・フォトセッション	平間至氏(写真家)、橋本拓也氏(ダンサー)
8.12	世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展	コンサート「フランス6人組、エリック・サティー ロマン派音楽から印象主義音楽、そして新古典主義へ」	京都市立芸術大学音楽学部学生 (fl 小林千晶、Ob 葛城 裕也、Cl 岡本 昇大、Hr 斉藤 日菜子、Fg 高島 翔大、Pf 濱田 千幸)
8.19	世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展	ワークショップ「フィルム写真入門 やってみよう現象とプリント!」	企画協力: 花中舎伊藤組
10.14	ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ -日本近代絵画との出会い- 展	講演会「日本近代絵画の愉しみ」	植田彩芳子(当館学芸員)
10.20	ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ -日本近代絵画との出会い- 展	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
10.21	ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ -日本近代絵画との出会い- 展	特別講演会「日本美術とヌード」	宮下規久朗氏(神戸大学教授)
11.10	ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ -日本近代絵画との出会い- 展	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
11.11	ウッドワン美術館コレクション 絵画の愉しみ、画家のたぐらみ -日本近代絵画との出会い- 展	特別イベント 「桂そうばのアート・トーク×落語」	出演: 桂そうば氏(落語家) 聞き手: 植田彩芳子(当館学芸員)
12.23	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	記念講演会(1) 「文化財写真と歴史学—歴史史料の複製とコロタイプ印刷の関係から」	谷昭佳氏 (東京大学史料編纂所技術専門職員)
12.23	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	ギャラリートーク	長村祥知(当館学芸員)
2018.1.7	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	文化財複製シンポジウム	朝賀浩氏(文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官)、村上隆氏(京都美術工芸大学副学長)、西村寿美雄氏(株式会社便利堂)、長村祥知(当館学芸員)
1.13	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	記念講演会(2) 「文献資料の書写と複製」	長村祥知(当館学芸員)
1.20	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす -文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ-	ワークショップ(1) 「コロタイプ手刷り体験」	山本修氏(便利堂コロタイプ工房長)

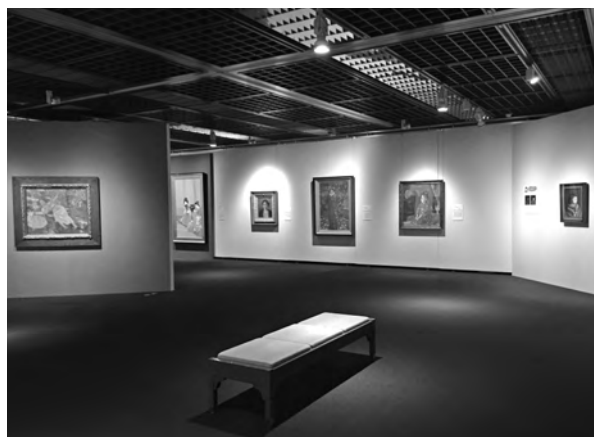
1.20	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす －文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ－	ギャラリートーク	西村寿美雄氏(便利堂社長室室長)、 長村祥知(当館学芸員)
1.20	京都府新鋭選抜展2018 －Kyoto Art for Tomorrow－	特別出品作家による作品紹介	塩田千春氏
1.27	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす －文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ－	ワークショップ(2) 「高松塚古墳壁画を撮る」	本城克彦氏、山内崇誠氏、岩村孝氏(便利堂写真技師)、大八木威男氏(便利堂写真技師OB)
1.27	便利堂創業130周年記念 至宝をうつす －文化財写真とコロタイプ複製のあゆみ－	ギャラリートーク	長村祥知(当館学芸員)
1.28	京都府新鋭選抜展2018 －Kyoto Art for Tomorrow－	出品作家によるギャラリー・トーク	出品作家
2.3	京都府新鋭選抜展2018 －Kyoto Art for Tomorrow－	出品作家によるギャラリー・トーク	出品作家
2.17	ターナー 風景の詩	講演会「風景の詩：ターナーの絵画」	富岡進一氏(郡山市立美術館主任学芸員)
2.23	ターナー 風景の詩	ギャラリートーク	林智子(当館学芸員)
3.11	ターナー 風景の詩	英国式紅茶の淹れ方教室～ターナーに思いを寄せた空間で過ごすひととき～	福田万弓氏(京都らしい紅茶教室「ティージョルノ」代表)
3.23	ターナー 風景の詩	ギャラリートーク	林智子(当館学芸員)
3.25	ターナー 風景の詩	思い出の風景を水彩画で描こう －ターナーのように－	鶴飼雅樹氏(日本画家)
4.6	ターナー 風景の詩	ギャラリートーク	林智子(当館学芸員)



「いつだって猫展」会場風景



「パリ・マグナム写真展」会場風景



「絵画の楽しみ、画家のたくらみ展」会場風景



「至宝をうつす展」会場風景

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2017.4.4~16	【戦国時代展特別上映企画】 戦国の夢追い人たち	気まぐれ冠者／独眼龍政宗／蜘蛛巣城／雨月物語／隠し砦の三悪人／反逆児／忍びの者／大魔神	12	24	1,395
2017.4.18~4.30	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ 3	爆音／鴛鴦歌合戦／春秋一刀流／小島の春／馬／ハワイ・マレー沖海戦／無法松の一生	12	24	1,161
2017.5.1~6.2	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ4	虎の尾を踏む男達／狐の呉れた赤ん坊／大曾根家の朝／銀嶺の果て／王将／花咲く家族／風の中の牝鶏／夜の女たち／晩春／帰郷／また逢う日まで／羅生門／あゝ青春	26	52	3,236
2017.5.25~5.27	ndjc若手映画作家育成プロジェクト 文博セレクション	あかり／カサブランカの探偵／カオリと機械油／嘘つき女の明けぬ夜明け／ホールイン・ワンダーランド／父の結婚／琥珀色のキラキラ／RAFT／動物の狩り方／嘘々実実／オジャレ番外地／エンドローラーズ／ジョニーの休日／戦場へ、インターン	3	6	207
2017.6.3~6.25	EUフィルムフェスティバル2017 映画で旅するヨーロッパ	フラワーズ／アイスドラゴン／いつまでも一緒に／オリ・マキの人生で最も幸せな日／ラトビアのショートアニメ集／男として死ぬ／猫はみんな灰色／お母さん／フィフスシーズン〜春が来ない村／シング・ストリート 未来へのうた／リトル・マン／すべて売り物／ホワイトゴッド少女と犬の狂詩曲(ラプソディ)／五日物語 ー3つの王国と3人の女／エディットをさがして／検事、弁護士、父親、そして息子／私に構わないで／善意の行方／OKI(沖)／パティエとの二十一夜／クリスマスの伝説 ー4人の若き王たち／明日、戦争の後で／マリー・クローヤ 愛と芸術に生きて／ナイトライフ／ヴォイチェフ／テケールの奇跡	20	48	3,847
2017.6.17	酒豆忌30年&関西初開催記念 中川信夫監督『東海道四谷怪談』上映	東海道四谷怪談	1	1	217
2017.6.27~7.30	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ5	カルメン故郷に帰る／どっこい生きてる／源氏物語／西鶴一代女／蟹工船／東京物語／妻／山椒大夫／二十四の瞳／ゴジラ／七人の侍／警察日記／太陽の季節／くちづけ	28	55	3,398
2017.7.15	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品 上映会	黒い雨	1	1	160
2017.7.16、7.17、7.24	祇園祭記念特別上映会	祇園祭	3	6	613
2017.8.1~8.31	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ6	一心太助 天下の一大事／白蛇伝／陽のあたる坂道／私は貝になりたい／日本の夜と霧／裸の島／切腹／おとし穴／非行少女／彼女と彼／豚と軍艦／剣	24	45	3,052
2017.8.3~8.5	第23回京都国際子ども映画祭	マウンテン・ミラクル／いっしょの目線で／校庭に東風吹いて／短編アニメ集／短編映画集	3	9	691
2017.9.1~9.3	日本映像学会関西支部 第39回夏期映画ゼミナール 山田五十鈴生誕百年記念特集 彼女が演じた娘・妻・母	国土無双／折鶴お千／浪華悲歌／昨日消えた男／女優／女ひとり大地をゆく／流れる／暴れん坊街道／どん底／ぼんち	3	11	894
2017.9.5~10.27	生誕百年 映画女優 山田五十鈴	険の母／国土無双／折鶴お千／浪華悲歌／祇園の姉妹／四十八人の浪士／鶴八鶴次郎／樋口一葉／昨日消えた男／その前夜／或る夜の殿様／女優／おぼろ駕籠／大江戸五人男／箱根風雲録／あばれ獅子／縮図／女ひとり大地をゆく／流れる／たけくらべ／猫と庄造と二人のをんな／暴れん坊街道／蜘蛛巣城／どん底／ぼんち／用心棒／釈迦／ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	45	89	5,163
2017.9.17	映画監督山中貞雄を偲ぶ	人情紙風船	1	1	83
2017.9.30	創造のためのアーカイヴ	<文化芸術資源の活用による新たな表現>阿部勉、関口敦仁、岩井俊雄、植松由佳による講演とシンポジウム。	1	1	108
2017.10.28~11.5	第9回京都ヒストリカ国際映画祭	近松物語／仁光の受難／リュミエール！／密使と番人／険の母／健忘村／エネミーズ／マクベス夫人／キンチェム 奇跡の競走馬／レフティ・ブラウンのパラド／上海キング／車夫遊侠伝 喧嘩辰／真田風雲録／沓掛時次郎 遊侠一匹／緋牡丹博徒 お竜参上／明治侠客伝 三代目襲名／緋牡丹博徒 花札勝負／17歳の恋愛注意報！／シルク	8	24	1,632
2017.11.7~12.3	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ7	赤ひげ／太平洋奇跡の作戦 キスカ／893愚連隊／東京オリンピック／白い巨塔／他人の顔／肉弾／濡れた二人／男はつらいよ／薔薇の葬列	20	40	2,495
2017.11.23~11.26	人文研アカデミー 2017連続レクチャー上映会 ロシア革命百周年記念映画祭 映像に刻まれたロシア革命	母／干渉戦争／26人のコミッサール／十月／十月のレーニン／ロマノフ王朝の崩壊／チャパーエフ	4	7	1,026
2017.12.5~12.27	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ8	仁義なき戦い／竜馬暗殺／サンダカン八番娼館 望郷／大地の子守歌／柳生一族の陰謀／ツイゴイネルワイゼン／泥の河／鬼龍院花子の生涯／序の舞／近松門左衛門 鍵の権三	20	40	2,649

2018.1.4~2.4	生誕110年 稀代の名脇役 浪花千栄子と沢村貞子	路傍の石／破れ太鼓／西鶴一代女／祇園囃子／噂の女／晩菊／お父さんはお人好し／夫婦善哉／太陽とバラ／赤線地帯／暇の母／大阪物語／裸の大将／悪名	27	54	3,178
2018.1.27	立命館大学映像学部創立10周年記念事業 地域から次世代映画を考える：制作者の視点、上映者の視点	第1部 映画はどこでもつくれる！か？ ～地方で映画を作るわけ～『右にミナト、左にヘイワ。』『しまこと小豆島』『茜色の約束 サンパ do 金魚』第2部 関西次世代映画ショーケース	1	2	213
2018.2.6~3.2	自由に映画を作りたい！京都のインディーズ興亡史	山宣葬／疏水 流れに沿って／煙突屋ペロー／快人狼前・後篇／十字路／坂本龍馬／清水次郎長／祇園祭／鞍馬天狗 恐怖時代／ナンセンス諧謔三浪士／滝の白糸／忘れられた子等／顔役／竜馬を斬った男	22	43	1,698
2018.2.14	文化庁委託事業 若手映画作家育成プロジェクト ndjc2017年度全5作品 合評上映会	『化け物と女』『カレーライス』『もんちゃん』『トーキョーカプセル』『さらば、ダイヤモンド』の上映と池田暁、奥野俊作、金吾弘、齋藤栄美、中川和博の講演。	1	1	44
2018.3.1~3.4	創造のためのアーカイヴ	<映画文化を楽しむー講演・活弁・上映->『狂った一頁』『イワン雷帝 第一部・第二部』『知られざる「イワン雷帝」』上映。ナウム・クレイマン氏、大平陽一氏、橋岡求美氏講演会。<「映画保存・復元・公開-イタリヤ・韓国・日本」>『地獄門』『Rapsodia Satanica サタン狂想曲』上映。小川佐和子、マリアン・レヴィンスキー・シュトロイリ氏、鄭琮樺氏、金琦皓氏講演。	4	8	1,028
2018.3.6~4.1	映画に見るきもの文化	櫛とかんざし／京くみひも／京扇子／京うちわ／歌麿をめぐる五人の女／雪夫人絵図／西陣／京舞・四世 井上八千代／人生のお荷物／みだれ髪／細雪／お遊さま／東京物語／日本橋／鍵	23	45	2,818
2018.3.20、3.21	ターナー展特別上映	ターナー、光に愛を求めて	2	3	206

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2017年度共催上映等の実績

◆ 文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 文博セレクション

[期間] 5月25日～27日

[共催] 特定非営利活動法人映像産業振興機構

[会場] 本館3Fフィルムシアター

[内容] 『あかり』『カサブランカの探偵』『カオリと機械油』『嘘つき女の明けない夜明け』『ホールイン・ワンダーランド』『父の結婚』『琥珀色のキラキラ』『RAFT』『動物の狩り方』『嘘々実実』『オシャレ番外地』『エンドローラーズ』『ジョニーの休日』『戦場へ、インターン』の上映。

[鑑賞者数] 207人(69人／1日)

◆ EUフィルムデーズ2017in京都

[期間] 6月3日～25日

[共催] 欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

[会場] 本館3Fフィルムシアター

[内容] EU代表部が加盟各国から集めた映画作品『フラワーズ』『アイスドラゴン』『いつまでも一緒に』『オリ・マキの人生で最も幸せな日』等26作品の上映と、ティーナ・マルベルグ(『お母さん』主演女優)、プロデューサーのアエト・ライグ(『お母さん』プロデュ

ーサー)、イグリカ・トリフォノヴ(『検事、弁護士、父親、そして息子』監督)によるトーク。

[鑑賞者数] 3,847人(192人／1日)

◆ 第23回京都国際子ども映画祭

[期間] 8月3日～5日

[共催] キンダーフィルムフェストきょうと

[会場] 本館3Fフィルムシアター

[内容] 世界各国で制作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『マウンテン・ミラクル』『いっしょの目線で』『校庭に東風吹いて』『短編アニメ集/短編映画集』等11作品の上映と金田敬監督、向鈴鳥のトーク。

[鑑賞者数] 691人(230人／1日)

◆ 創造のためのアーカイヴ

「文化芸術資源の活用による新たな表現」

[期間] 9月30日

[助成等] 文化庁美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業

[会場] 本館3Fフィルムシアター

[内容] 基調講演「松竹映画をアーカイヴする：遺し

たいもの、伝えたいこと」(講師/阿部勉)
パネルディスカッション「メディアアートのアーカイブ：記録・保存・修復の諸問題」(関口敦仁、岩井俊雄、植松由佳)
[鑑賞者数] 108人(108人/1日)

◆ 第9回京都ヒストリカ国際映画祭

[期間] 10月28日~11月5日
[主催] 京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会(株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所、京都府、立命館大学、株式会社東映京都スタジオ、ディレクターズ・ユニブ、当館)
[共催] KYOTO CMEX 2016
[会場] 本館3Fフィルムシアター
[内容] 『近松物語』『エネミーズ』『マクベス夫人』『キンチェム 奇跡の競走馬』『車夫遊侠伝 喧嘩辰』『真田風雲録』等19作品の上映と香川京子(女優)、ティエリー・フレモー(カンヌ国際映画祭総代表)、ガール・ヘレンド(『キンチェム 奇跡の競走馬』監督)、ジャレッド・モシェ(『レフティ・ブラウンのバラード』監督)、チェン・ユーシュン(『健忘村』監督)、篠崎誠(映画監督)、山根貞男(映画評論家)、菅原俊夫(殺陣師)、アレッサンドロ・バリッコ(作家、『シルク』原作者)、シャーウッド・フー(『上海キング』監督)、庭月野議啓(『仁光の受難』監督・脚本等)、三宅唱(『密使と番人』監督)、リー・ター・ソン(『17歳の恋愛注意報!』監督)、ミルクマン斎藤(映画評論家)、西尾孔志(映画監督)、鳥居元宏(脚本家・映画監督)、入江悠(映画監督)、坂本安美(アンステチュ・フランセ日本映画プログラム主任)によるトーク。
[鑑賞者数] 1,632人(204/1日)

◆ 【人文研アカデミー 2017】

ロシア革命百周年記念映画祭
—映像に刻まれたロシア革命—
[期間] 11月23日~26日
[共催] 京都大学人文科学研究所
[会場] 本館3Fフィルムシアター
[内容] 『母』『干渉戦争』『26人のコミッサール』『十月』等7作品と小川佐和子(京都大学)、楯岡求美(東京大学)、中村唯史(京都大学)、八木君人(早稲田大学)、大平陽一(天理大学)によるレクチャー。
[鑑賞者数] 1,026人(257人/1日)

◆ 創造のためのアーカイブ

「映画保存・復元・公開—イタリア・韓国・日本」
[期間] 3月1日、4日
[助成等] 文化庁美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業
[協力] 京都大学人文科学研究所、チネテカ・ディ・ボローニャ、韓国映像資料院、(株)KADOKAWA、(株)IMAGICA、(株)IMAGICAウエスト
[会場] 本館3Fフィルムシアター、別館ホール
[内容] 『地獄門』『Rapsodia Satanica サタン狂想曲』の上映と小川佐和子(京都大学人文科学研究所)、マリアン・レヴィンスキー・シュトロイリ(ボローニャ復元映画祭キュレーター)、鄭琮樺(韓国映像資料院)、金琦皓(韓国映像資料院)、新井陽子・中村謙介(IMAGICA社)による講演。
[鑑賞者数] 349人(174人/1日)

◆ 創造のためのアーカイブ

「映画文化を楽しむ—講演・活弁・上映—」
[期間] 3月2日、3日
[助成等] 文化庁美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業
[協力] 国際交流基金、東京大学大学院人文社会系研究科、東京国立近代美術館フィルムセンター、おもちゃ映画ミュージアム
[会場] 本館3Fフィルムシアター、別館ホール
[内容] 『狂った一頁』活弁・ピアノ伴奏付き上映、『何が彼女をそうさせたか』『イワン雷帝 第一部・第二部』『知られざる「イワン雷帝」』の上映とナウム・クレイマン(フィルムアーキヴィスト)、大平陽一(天理大学)、楯岡求美(東京大学)による講演会。
[鑑賞者数] 679人(339人/1日)

◆ 創造のためのアーカイブ

「映画フィルムってどんなモノ?」
—映画フィルム現像・焼付体験ワークショップ—
[期間] 3月24日
[助成等] 文化庁美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業
[協力] (株)IMAGICAウエスト
[会場] 別館2階講義室、別館暗室
[内容] 100年前の映画現像と、サイレント期の手廻しカメラ、手廻し映写機を体験するワークショップ。
[鑑賞者数] 10人(10人/1日)

- ◆ 映画『みだれ髪』寄贈記念上映
[期間] 3月17日
[会場] 本館3Fフィルムシアター
[内容] 女優・市田ひろみさんからの映画『みだれ髪』

の寄贈を記念して、市田ひろみさんを招いて上映会を開催。

[鑑賞者数] 200人(200 / 1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

- ◆ 日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品
上映会+トーク

[期間] 7月15日
[共催] 日本映画テレビ技術協会 京都支部、京都クロスメディア推進戦略拠点
[会場] 本館3Fフィルムシアター
[内容] 『黒い雨』と近森真史(撮影監督)によるトーク。
[鑑賞者数] 160人(160人 / 1日)

- ◆ 日本映像学会関西支部第39回夏期映画ゼミナール
山田五十鈴生誕百年記念特集 彼女が演じた娘・妻・母

[期間] 9月1日～3日
[共催] 日本映像学会関西支部
[会場] 本館3Fフィルムシアター
[内容] 『国士無双』『折鶴お千』『浪華悲歌』『昨日消えた男』等10作品の上映と木下千花(京都大学)、中島貞夫(映画監督)、中村聡史(関西学院大学)によるシンポジウム。
[鑑賞者数] 894人(298人 / 1日)

- ◆ 第10回京都フィルムメーカーズラボ
(Kyoto Filmmakers Lab 2017)

[期間] 10月28日～10月31日
[主催] 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ]

[共催] 第30回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会

[協力] 京都クロスメディア推進戦略拠点
[会場] 東映京都撮影所、松竹撮影所、当館
[内容] 世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公募の結果、54カ国214名の応募。審査の結果、外国人10カ国19名、日本人16名が審査を通過(日本、アメリカ、オーストラリア、バングラデッシュ、ブラジル、中国、エジプト、フィリピン、インド、インドネシア、メキシコ、ミャンマー、シンガポール、スペイン、ウガンダ、ヴェトナム、台湾)。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人氏(撮影監督/東映)、岩田均氏(プロデューサー/松竹)監修の時代劇製作ワークショップ、撮影所見学を開催。

[参加人数] 40名

◆ 京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

[期間] 10月31日～11月3日

[主催] 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ]

[共催] 第30回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会

[協力] 京都クロスメディア推進戦略拠点、日中映画祭実行委員会、上海戯劇学院、イタリア文化会館-大阪

[会場] 本館3Fフィルムシアター、東映京都撮影所、松竹撮影所、旧武徳殿、大本山東福寺

[内容] 京都フィルムメーカーズラボ参加者、シャーウッド・フー(映画監督)、アレックスandro・バリッコ(文学者)、サヴィーネ・ネイロッティ(トリノ・フィルム・ラボ)、ジェイコブ・ウォン(香港国際映画祭キュレーター)、ナシェン・ムードリー(シドニー国際映画祭ディレクター)、山根貞男(映画評論家)、リー・ター・ソン(映画監督)、西尾大介(アニメーション演出)、入江悠(映画監督)、篠崎誠(映画監督)、爾英晃(大本山東福寺法務執事)によるトーク。

[鑑賞者数] 474人(118人/1日)

◆【立命館大学映像学部創立10周年記念】

地域から次世代映画を考える：制作者の視点、
上映者の視点

[期間] 1月27日

[共催] 立命館大学映像学部、NPO法人独立映画鍋、関西次世代映画ショーケース実行委員会

[会場] 本館3Fフィルムシアター

[内容] 1部「映画はどこでもつくれる！か？～地方で映画を作るわけ～」関連上映『右にミナト、左にヘイワ。』『しまこと小豆島』『茜色の約束 サンバdo金魚』、シンポジウム第1部「映画はどこでもつくれる！か？～地方で映画を作るわけ～」、第2部「京阪神ミニシアターの現状とインディペンデント映画上映スキーム」。

[鑑賞者数] 213人(213人/1日)

③ 大学生向け普及事業

◆ インターンシップの受け入れ

平成29年度 前期 立命館大学(映像学部1名)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2017年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2017.4.4～16	【戦国時代展特別上映企画】戦国の夢追い人たち
2017.4.18～4.30	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ 3
2017.5.1～6.2	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ4
2017.5.25～5.27	ndjc若手映画作家育成プロジェクト 文博セレクション
2017.6.3～6.25	EUフィルムデーズ2017 映画で旅するヨーロッパ
2017.6.17	酒豆忌30年&関西初開催記念 中川信夫監督『東海道四谷怪談』上映
2017.6.27～7.30	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ5
2017.7.15	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会
2017.7.16、7.17、7.24	祇園祭記念特別上映会
2017.8.1～8.31	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ6
2017.8.3～8.5	第23回京都国際子ども映画祭
2017.9.1～9.3	日本映像学会関西支部 第39回夏期映画ゼミナール 山田五十鈴生誕百年記念特集 彼女が演じた娘・妻・母
2017.9.5～10.27	生誕百年 映画女優 山田五十鈴
2017.9.17	映画監督山中貞雄を偲ぶ
2017.9.30	創造のためのアーカイヴ
2017.10.28～11.5	第9回京都ヒストリカ国際映画祭
2017.11.7～12.3	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ7
2017.11.23～11.26	人文研アカデミー 2017連続レクチャー上映会 ロシア革命百周年記念映画祭 映像に刻まれたロシア革命
2017.12.5～12.27	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ8
2018.1.4～2.4	生誕110年 稀代の名脇役 浪花千栄子と沢村貞子
2018.1.27	立命館大学映像学部創立10周年記念事業 地域から次世代映画を考える：制作者の視点、上映者の視点
2018.2.6～3.2	自由に映画を作りたい！京都のインディーズ興亡史
2018.2.14	文化庁委託事業 若手映画作家育成プロジェクト ndjc2017年度全5作品 合評上映会
2018.3.1～3.4	創造のためのアーカイヴ
2018.3.6～4.1	映画に見るきもの文化
2018.3.20、3.21	ターナー展特別上映

Ⅲ - 4 その他

◆【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2017年度は4,097名の子供が入場した。

◆【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2017年度の夜間開館入場者は2,312名であった。

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

① 京都府立京都学・歴彩館グランドオープン記念展示 「池大雅」

会 期：2017年10月14日(土)～12月10日(日)
[56日／58日]
休館日：毎月第二水曜日および11月23日(木・祝)
会 場：1階展示室
入場料：無料
担当者：森 道彦
入場者：2,702人(1日平均48.3人)

【概要】

池大雅は、江戸時代中期の京都に生きた文人画の巨匠の一人である。本展示では、池大雅美術館より寄贈され、現在京都府が収蔵する池大雅の書画および関連資料のなかから選りすぐり、大雅のすぐれた書画作品を展示した。

【主な出品作品】

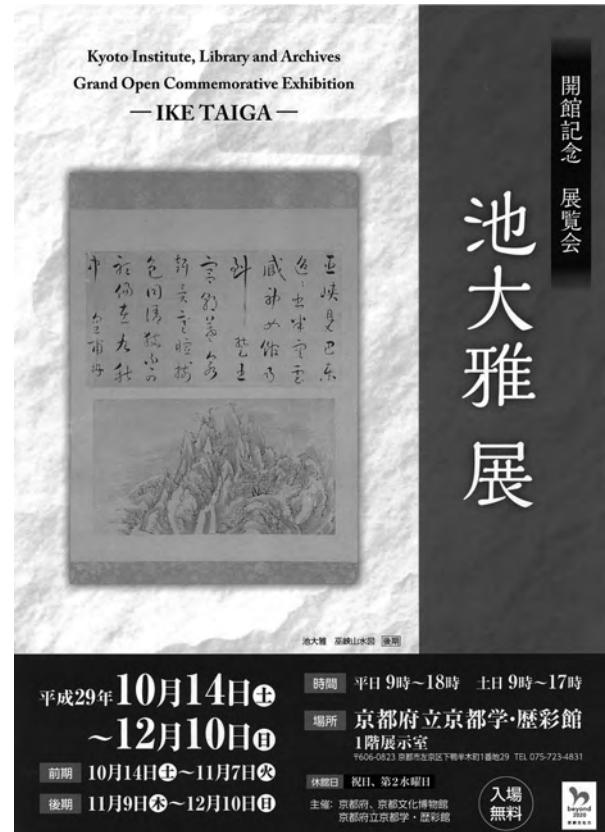
池大雅 書 独楽園記 享保19年(1734)
池大雅 画 天産奇葩図巻 寛延2年(1749)
池大雅 書 大字 家方 江戸時代中期(18世紀)

【出品作品数】 36点

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：10月26日(木)、11月30日(木)午後2時30分～
(30分程度)
担当者：森 道彦
参加者：それぞれ13名、17名



Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

② 京都学・歴彩館開館記念 京の四季風景

会 期：2017年12月16日(土)～2018年3月13日(火)
[71日／88日]
前期：12月16日(土)～2018年2月13日(火)
後期：2018年2月15日(木)～3月13日(火)
休館日：祝日、第2水曜日、12月28日～1月4日
会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室
入場料：無料
主 催：京都府、京都文化博物館、
京都府立京都学・歴彩館
担当者：植田彩芳子
入場者：3,435人(1日平均 45.8人)

【概要】

京都府が所蔵する絵画作品のなかでも、「京の百景」「京の四季」などのシリーズ作品のなかには、京都で暮らす人々の四季折々の営みや美しい自然の風景を描いた作品が集結されています。本展では、京都を代表する画家たちが描いた選りすぐりの京の四季風景作品を紹介しました。

前期に京都市内の四季風景を展示し、後期には京都府内の四季風景をご紹介します。

【主な出品作品】

前期 木下章「醍醐の桜」(京の百景79)、昭和48年
 谷野圭一「祇園祭」(京の百景7)、昭和48年
 加藤美代三「北山杉の木立」(京の百景25)、
 昭和48年
 磯田又一郎「京の家並みと横丁」(京の百景6)、
 昭和48年
 後期 渡辺信喜「常照皇寺(御車返)」(京の四季246)、
 昭和61年
 山本紅雲「宮津とうろう流し」(京の百景118)、
 昭和48年
 並木光昭「光明寺秋色」(京の四季210)、昭和61年
 橋田二郎「伊根の船家」(京の百景114)、昭和48年

【出品作品数】 40点

【関連行事】

[1] ギャラリートーク

日時：1月25日(木)、3月8日(木)
 午後2時30分～(30分程度)

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ28名、13名

「京の四季風景」ちらし

III-5 京都学・歴史館にける展示

③ 2017(平成29)年度 京都学・歴史館 1階交流フロア ホワイエ展示

No.	作者	タイトル	制作年	素材	展示期間
1	清水九兵衛	Corresponding Space II	1996年	アルミニウム	2017年4月27日(木)～10月10日(火)
2	富樫 実	空にかける階段'76 VIII	1976年	木	2017年4月27日(木)～2018年4月10日(火)
3	藪内 弘	稚	1968年	大理石	2017年4月27日(木)～2018年4月10日(火)
4	藪内 弘	風の序曲	1992年	ブロンズ、六方石	2017年4月27日(木)～2018年4月10日(火)



ホワイエ展示風景



ホワイエ展示風景

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・幕末～明治期京都の文化サークル(3)
—今尾景年、大橋松次郎
- 林 智子 ・京都府コレクションにみる公家の服飾
文化について(2)
- 植田彩芳子 ・近代京都絵画研究 ～小川千甕、太田
喜二郎を中心に～
- 西山 剛 ・都市民の結節点としての神社
- 村野正景 ・当館所蔵考古資料の再整理 3

- 橋本 章 ・祇園祭と京都の生活文化に関する研究③
- 植田憲司 ・『京都名所撮影』に関する調査研究
- 清水智世 ・近現代京都の作家に関する総合的研究①

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 西山 剛 ・東京大学史料編纂所 近世都市図解析
プロジェクト

2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第47回日本伝統工芸近畿展 鑑査委員
・「美連協奨励賞」推薦委員
- 森脇清隆 ・文化庁メディア芸術連携促進事業企画
案選定委員
・文化庁日本映画情報システムの情報収
集等業務に関する企画案選定委員
・文化庁若手アニメーター等人材育成事
業企画案選定委員
・京都国際学生映画祭企画検討委員
・京都市コンテンツ産業振興に向けた有
識者懇談会委員
- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員
・京都国立近代美術館平成29年度第1回
・京都国立近代美術館平成29年度第2回
・京都国立近代美術館平成29年度第3回
・京都国立博物館寄贈評価員
・滋賀県立陶芸の森ゲストアーティスト
選考委員
・滋賀県立陶芸の森陶芸作品等収集審査
会委員
・第50回青黛会作陶審査員
・第38回京都工芸美術作家協会展審査員

- 西山 剛 ・世界人権問題研究センター 嘱託研究員
- 村野正景 ・金沢大学国際文化資源学研究センター
客員研究員
・京都外国語大学ラテンアメリカ研究所
客員研究員
- 橋本 章 ・京都民俗学会理事
・日本民俗学会第31期評議員
・日本民俗学会第69回年会実行委員会委員
- 長村祥知 ・東京大学史料編纂所共同研究員
・国立歴史民俗博物館共同研究員
・伊賀市文化財保護審議会委員
- 植田憲司 ・きょうと障害者文化芸術推進機構 検
討部会構成員
・日本記号学会 理事・編集委員

3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子 ・「旧大橋家資料について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)
- 植田彩芳子 ・「小川千甕筆《西洋風俗大津絵》の史的
位置」(『美術フォーラム21』36号所収／2017年11月)
・「木島櫻谷筆猛鷲図」(『國華』1468号所収／2018年2月)
・「翻刻小川千甕『滞欧日記(下)』(1)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月／共著)
・「近代京都の「アートと考古学」の一検討—「京都の画家と考古学—太田喜二郎と濱田耕作—」展の展示資料を題材に1」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月／共著)
- 西山 剛 ・「中近世における祇園会神輿をめぐる人々」(『藝能史研究』第218号、2017年7月)
・「中世後期における鳥獣類をめぐる人々」(『人権問題研究叢書17 中近世の被差別民像』、世界人権問題研究センター、2018年3月)
・「京都府蔵『当時勤仕諸役人職掌』の翻刻と紹介」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)
- 村野正景 ・「平安京羅城門跡地出土の石塔」(『土車公益財団法人古代学協会だより』所収／(公財)古代学協会／2017年6月)
・「埋もれた「価値」を見直し提案」(『毎日新聞(大阪)夕刊』2017年7月27日)所収／毎日新聞社／2017年7月)
・「社会に認められる博物館へ—地域・学校と博物館の連携—」(『古代アメリカ学会会報』第132号所収／古代アメリカ学会／2017年7月)
・「学校所在資料の過去・現在・未来」(『考古学研究』第64巻第3号所収／考古学研究会／2017年12月／共著)
・「朝鮮絵巻」(『古代文化』第69巻第3号所収／(公財)古代学協会／2017年12月)
・「学校所在資料論の構築」(『考古学研究』第64巻第4号所収／考古学研究会／2018年3月／共著)
・「学校と考古学をつなぐ新たな取組」(『考古学研究』第64巻第4号所収／考古学研究会／2018年3月／共著)
・「京都府立鴨沂高等学校所蔵の考古資料について—高校生による滋賀県滋賀里遺跡の調査成果—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月／共著)
・「近代京都の「アートと考古学」の一検討—「京都の画家と考古学—太田喜二郎と濱田耕作—」展の展示資料を題材に1」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月／共著)
- 橋本 章 ・「獅子舞の伝播と展開過程の検証—旧伊賀国の事例から—」(『民俗文化の伝播と変容』／2017年6月岩田書院所収)
・「平成二十九年度京都文化博物館企画展「近代京都へのまなざし—写真にみる都の姿—」から」(『文化財レポート』第31号所収／2018年3月)
・「祇園祭山伏山と聖護院—明治14年寄附不動袈裟とその添状から—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)
- 森 道彦 ・「作品解説 右都御史印墨牛図栃木県立博物館蔵／鄭卓書状(写)狩野元信宛大和文華館蔵／狩野元信筆 景徐周麟 賛細川澄元像永青文庫蔵／伝 狩野元信筆飯尾宗祇像ボストン美術館蔵／狩野元信書状玉雲軒宛大徳寺蔵／狩野元信筆神馬図絵馬賀茂神社蔵／狩野元信筆神馬図絵馬子守神社蔵」(特別展「狩野元信」展図録所収／サントリー美術館／2017年9月)
・「室町時代における花鳥画制作と写生の機能について—初期狩野派「鳥類図巻」(京都国立博物館)を中心に」(公益財団法人鹿島美術財団編『鹿島美術財団研究』年報第34号別冊所収／2017年11月)
・「狩野興也筆 源氏物語六条院庭園図巻」

- ・『國華』1466号所収／2017年12月)
- ・「総論 伝世品について」(京都文化博物館『保存と修理の文化史』展図録所収／2018年1月／※中野慎之氏との共同執筆)
- ・『公益財団法人 渡辺美術館所蔵品調査報告書(第四回)狩野派絵画 附 吉村孝敬 森周峯』(渡辺美術館／平成30年3月／※奥平俊六氏、門脇むつみ氏との共編)
- ・「西遷する相模武士団」(関幸彦編『相模武士団』吉川弘文館／2017年9月)
- ・「中世前期の在京武力と公武権力」(『日本史研究』666号所収／2018年2月)
- ・「戦国時代の除目聞書—天文十七年「県

長村祥知

植田憲司

召除目聞書—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)

- ・「アートアーカイヴと著作権」(『日本写真年鑑2017』所収／日本写真協会／2017年5月)
- ・「『京都名所撮影』と桑田正三郎」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)

清水智世

- ・「小牧源太郎と京都と前衛一戦時下における「仏画的なもの」への移行について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第30集所収／2018年3月)

② 発表・講演

- 畑 智子
 - ・「京都の起死回生—博覧会の時代へ」(明治150年 京都学歴彩館リレー講座／於：京都府立京都学・歴彩館／2018年1月28日)
- 森脇清隆
 - ・【VR体験型展示「スタンサカイの世界 関連トークイベント」】アメコミ「兎用心棒」の魅力(於：京都国際マンガミュージアム／2017年4月15日)
 - ・地域コンテンツ創造論「博物館と地域文化振興」(於：立命館大学／2017年5月19日)
 - ・「京都カルチャー茶論キネマの京都 京都と日本映画の歩み」(於：京都駅ビル 開発京都茶寮／2017年7月14日)
 - ・「京都の映画文化産業の歴史」(於：大学コンソーシアム京都／2017年11月4日)
 - ・「映画『リュミエール!』作品とその背景」(於：出町座／2017年12月28日)
 - ・「シンポジウム—アーカイヴの理論と実践」(於：京都大学総合人間学部／2017年12月28日)
- 洲鎌佐智子
 - ・「博物館学芸員の仕事について」(於：京都女子大学／2017年6月30日)
 - ・「伝統産業と団扇」(文化を未来に伝える次世代育み事業「学校アート出会いプロジェクト」ワークショップ、於：舞鶴市立高野小学校／2017年6月13日、

八幡市立くすのき小学校／2017年6月26日、27日

- ・「京の五節句」(土曜講座／於：三井記念美術館／3月17日)

植田彩芳子

- ・「近代花鳥画史における渡辺省亭の位置」(明治美術学会例会／於：東京藝術大学／2017年4月2日)

西山 剛

- ・「中世身分制における職能論職能民の位置付け試論」(世界人権問題研究センター、2017年4月12日)
- ・「戦国時代展」パネルディスカッション(阿部哲人・齋藤慎一・長村祥知と共同／於：米沢市上杉博物館／2017年5月13日)

村野正景

- ・「学校所蔵考古・歴史資料の現状と課題—所在調査、研究、活用の事例—」(考古学研究会第63回総会研究集会／於：岡山大学／2017年4月15日・16日／共同発表)
- ・「学校所蔵資料の調査と活用」(第40回地理教育研究部会(平成29年度地理教育夏季研修会)／於：南丹市国際交流会館／2017年8月10日)
- ・「Whose history is the museum talking about? A case of the Museum of Kyoto」(CAMOC Annual Conference 2017／於：Museo Nacional de las

Culturas del Mundo, Mexico / 2017年10月31日)

- 「京都文化博物館の博学社連携事業」(平成29年度両丹文化財保護連絡協議会第2回京丹後市文化財セミナー/於:京丹後市丹後庁舎/2017年11月24日)
- 「“ゴミ”を“たからもの”に変えてみよう! ~学校における博物館と実物資料の活用~」(立命館学校教育研究会秋季大会2017 / 2016年11月26日)
- 「Introducción a la Arqueología Pública」(Taller“Arqueología Pública, una herramienta para el fortalecimiento de la identidad” /於: Museo Nacional de Antropología, El Salvador / 2017年12月7日)
- 「Arqueología Pública en Japón」(Taller“Arqueología Pública, una herramienta para el fortalecimiento de la identidad” / 於: Museo Nacional de Antropología, El Salvador / 2017年12月7日)
- 「「学校と考古学」の歴史と現状: 京都の学校における考古資料の収集と活用を中心に」(考古学の民族誌—考古学的知識の多様な形成利用変成過程の研究 研究会/於: 国立民族学博物館/2018年1月20日)
- 「京都文化博物館所蔵の遺跡出土備前焼」(企画展関連講座「医王山東麓窯跡群の全貌!」ギャラリートーク/於: 備前市歴史民俗資料館/2018年2月11日)
- 「京都における学校所蔵考古関連資料の保存と活用」(「学校と文化資源」研究会/於: 東京大学/2018年3月11日)
- 「戦略としての祇園祭と京都」(第893回日本民俗学会談話会年会プレシンポジウム『山鉾屋台行事』の意味論/政治論—京都で考える民俗学のかたち— /於: 佛教大学二条キャンパス/2017年7月30日)
- 日本民俗学会第69回年会公開シンポジウム「民俗学とは何か—京都で考える民俗学のかたち—趣旨説明および司会(於: 佛教大学紫野キャンパス/2017年10月14日)
- 「姉川合戦をめぐる物語の成立と史実

橋本 章

—信長家康長政の英雄譚から—(京都民俗学会第302回例会パネルトーク「戦国武将のフォークロア—歴史の再説にどう向き合うか—」/於: 京都市職員会館かもがわ/2017年12月9日)

森 道彦

• 「障屏画の保存と近世社会」(シンポジウム歴史のなかの保存と修理/於: 別館ホール/2018年3月4日)

長村祥知

• 「こもんじょ友の会2」(京都文化博物館友の会/於: 京都文化博物館/2017年4月1日)

• 「戦国時代展」パネルディスカッション(阿部哲人・齋藤慎一・西山剛と共同/於: 米沢市上杉博物館/2017年5月13日)

• 「中世前期の在京武力と馬政機関」(日本史研究会中世史部会/於: 機関紙会館/2017年5月21日)

• 「中世前期の在京武力と公家政権」(日本史研究会中世史部会/於: 機関紙会館/2017年7月23日)

• 「承久の乱と武士の一族」(ゴールデンエイジアアカデミー/於: 京都アスニー/2017年9月8日)

• 「中世前期の在京武力と公武権力」(日本史研究会中世史部会/於: 機関紙会館/2017年9月10日)

• 「中世前期の在京武力と公武権力」(日本史研究会大会/京都学園大学京都太秦キャンパス/2017年10月8日)

• 「座談会「うつす」文化の未来—変わるものと変わらないもの—」(朝賀浩・村上隆・西村寿美雄と共同/特別展「至宝をうつす」文化財複製シンポジウム/於: 京都文化博物館/2018年1月7日)

• 「文献資料の書写と複製」(特別展「至宝をうつす」記念講演会/於: 京都文化博物館/2018年1月13日)

植田憲司

• 「写真・現代美術・メディアアートにおける展示手法」(金沢大学 博物館展示論(講義)/於: 金沢大学/2017年7月7日)

• 「明治期の新聞記事にみる肖像写真の受容について」(文化資源学会研究発表大会/於: 東京大学/2017年7月15日)

V 普及活動

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第30集】

発行：京都文化博物館

発行日：2018年3月31日

印刷：株式会社吉川印刷工業所

体裁：A4判、124ページ

編集担当：畑 智子、木村千尋

掲載記事：

[論考]

・清水智世

小牧源太郎と京都と前衛

—戦時下における「仏画的なもの」への移行について—

[研究ノート]

・植田憲司

『京都名所撮影』と桑田正三郎

・橋本章

祇園祭・山伏山と聖護院

—明治14年寄附不動袈裟とその添状から—

・村野正景、植田彩芳子

近代京都の「アートと考古学」の一検討

—「京都の画家と考古学—太田喜二郎と濱田耕作—」
展の展示資料を題材に 1—

[資料紹介]

・村野正景、妹尾裕介、大石雅興

京都府立鴨沂高等学校所蔵の考古資料について
—高校生による滋賀県滋賀里遺跡の調査成果—

・畑 智子

旧大橋家資料(大橋松次郎宛葉書帖)

・植田彩芳子、増渕鏡子

翻刻 小川千甕『滞欧日記(下)』(1)

・長村祥知

戦国時代の除目聞書—天文十七年「県召除目聞書」—

・西山 剛

京都府蔵『当時勤仕諸役人職掌』の翻刻と紹介 (2)

2) 年報

【京都文化博物館2016(平成28)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2017年8月31日

印刷：株式会社吉川印刷工業所

体裁：A4判、70ページ

編集担当：西山剛、大川原絵里子

3) 展覧会図録

【近代京都へのまなざし】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、48ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2017年7月1日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

【京都府新鋭選抜展2017—Kyoto Art for Tomorrow—

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ

編集：京都府、京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2017年1月

印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

【保存と修理の文化史】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、63ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2018年1月5日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

V-2 音楽会

◆いずれも、主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【同志社女子大音楽専攻科による

宵山ミュージアムコンサート】

日時：2017年7月15日 午後2時～

主催：京都文化博物館

会場：別館ホール

演奏者：同志社女子大学音楽学部生

入場者：500名

【第28回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2017年7月15日 午後6時～

主催：京都文化博物館

会場：別館ホール

演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者：600名

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日時：2017年7月16日、17日

主催：京都文化博物館

会場：別館ホール

演奏者：

◎7月16日 午後1時～午後8時20分

大西貴浩(声楽)

京都市立京都御池中学校吹奏楽部

JEUGIAミュージックサロン三条(ポップス)

プカマイカラー(ハワイアン)

京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部

キャッツ&ドール(ジャズ)

サントロペーの仲間たち(シャンソン・カンツォーネ)

わらく堂(ピアノ弾き語り)

プレス&FIRST LINE(ゴスペル他)

◎7月17日 午後1時～午後6時

MOMONGA(アイリッシュ他)

京都市立桃山中学校吹奏楽部

京都廣学館高等学校吹奏楽部

ニューシャープハードオーケストラ(ジャズ・ポップス)

満月堂(フォークソング)

The Juke Box(オールディーズ・ポップス)

入場者：5,609名

*祇園祭協賛事業として開催し、15日・16日は午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

② その他のコンサート

【京都文化博物館ミュージアムコンサートシリーズ

『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2017』】

日 時：2017年8月8日～10日、15日～19日、

22日～24日 午後1時～午後3時

主 催：京都文化博物館

会 場：別館ホール

演奏者：

8日(火) 京都女子大学

9日(水) 京都女子大学／京都市立芸術大学／

京都市立京都御池中学校吹奏楽部

10日(木) 京都女子大学／京都市立芸術大学

15日(火) 京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部

16日(水) 同志社女子大学／京都市立芸術大学

17日(木) 京都市立芸術大学

18日(金) 同志社女子大学／京都市立芸術大学

19日(土) 京都市立芸術大学／京都女子大学／

同志社女子大学

22日(木) 京都市立芸術大学／京都女子大学／

同志社女子大学

23日(水) 京都市立芸術大学／同志社女子大学

24日(木) 京都市立芸術大学／京都女子大学／

同志社女子大学

入場者：6,803名

V-3 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2018年3月31日現在(2017年度)、94名のボランティアスタッフが活動している。ボランティアは“ぶんぱくボランティア”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティア”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベントサポートスタッフ”から構成されている。

フロアスタッフは日本語47名、英語22名、中・仏・西などその他の外国語9名の78名が朝10時から夜7

時30分までの間、3交代制で活動をおこなっている。

イベントサポートスタッフは16名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。アソシエイトボランティアは博物館の広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなうものであるが、2017年度の在籍者はなかった。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを実施している。

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」を実施した。

学習普及連携室チーム(神山俊昭、奥野清人、林智子、西山剛、長村祥知、清水智世、末廣たから)

【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2017年7月16日(日)午前10時～11時30分
担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

参加者数：子ども20名(保護者を除く)

実施目的：

- ①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。
- ②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味をもってもらう。

【第2回 絵はがきをつくろう！】

日時：2018年2月18日(日)午前11時～12時30分
担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

参加者数：2名(保護者を除く)

実施目的：

- ①特別展「ターナー 風景の詩」の理解を深める。
- ②身近な風景を絵はがきに描き、自分なりの風景画制作を体験する。

【第3回 空き缶で彫金プレートを作ろう！】

日時：2018年3月10日(土)午前10時30分～12時30分
担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

参加者数：子ども2名(保護者を除く)

実施目的：

- ①総合展「加藤宗巖・忠雄展」の理解を深める。
- ②身近な素材である空き缶で彫金プレートを制作することで、工芸の技法である彫金を実際に体験する。

【第4回 館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2018年3月24日(土)12時45分～午後3時
担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

参加者数：子ども5名(保護者を除く)

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2017年度の来館件数は122件であった。このうち解説を行ったのは、50件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われる

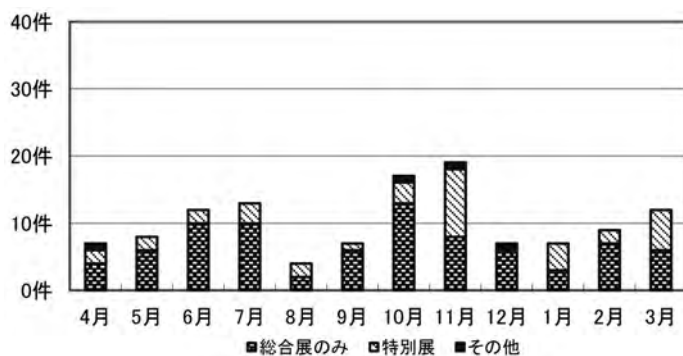
ことが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校、高校がつづく。

本年度は、10～11月、6～7月の団体申し込みが多く、一方で、9、12月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2017年度団体見学案内件数】

2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	459	235	296	635	146	156	977	525	296	1036	340	223	5324
来館件数	7	8	12	13	4	7	17	19	7	7	9	12	122
解説件数	3	4	5	6	3	3	3	9	3	4	3	4	50

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	10
中学校	22
高校	15
専門学校	3
大学	24
支援学校	1
一般	47
合計	122

4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。平成29年度は以下の学校の生徒を受入れた。

- ・京都市立西ノ京中学校
2017年5月30日(火)～6月1日(木)3日間 2名
- ・京都市立東山泉小中学校
2017年11月7日(火)～11月10日(金)4日間 3名
- ・京都市立洛風中学校
2018年1月16日(火)～1月19日(金)4日間 2名

V-4 博物館実習

【実施期間】

2017年8月1日(火)～8月4日(金)、8月7日(月)

【実習生】

尾道市立大学	1名
金沢美術工芸大学	1名
京都外国語大学	2名
京都学園大学	1名
京都教育大学	1名
京都造形芸術大学	2名
京都ノートルダム女子大学	1名
京都美術工芸大学	1名
京都府立大学	2名
神戸大学	1名
成安造形大学	1名
立命館大学	3名
龍谷大学	2名
(計19名)	

【実習内容／担当者】

- ・京都文化博物館の概要／畑 智子
- ・館内見学／植田彩芳子
- ・映像資料の取り扱いについて／森脇清隆、大矢敦子
- ・民俗資料の取り扱いについて／橋本章
- ・考古資料の取り扱いについて／村野正景
- ・美術資料の取り扱いについて／清水智世
- ・博物館の展示について／橋本章、村野正景、植田彩芳子
- ・染織資料の取り扱いについて／林 智子
- ・美術工芸品の取り扱いについて／洲鎌佐智子
- ・写真資料の取り扱いについて／植田憲司
- ・文献資料の取り扱いについて／西山 剛、長村祥知
- ・美術資料の保存管理と修理について／森 道彦

V-5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約81,847冊、逐次刊行物約3,205タイトル(80,371冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約35,000冊、展覧会図録が約14,900冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。こ

れらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,011件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約370冊、展覧会図録が約350冊、年報・紀要類が約400冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、SNSでの発信を強化することでホームページへのアクセスが前年比157.6%となり、ホームページによる広報が充実した。

【ホームページの利用状況】

2017年度	総 数	一日平均
アクセス数	766,060	2,098
ページビュー	3,951,126	10,825

V-6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2017年度は、4館連携講座、

各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成、リーフレット利用したスタンプラリー(参加[応募]者:119名)、各館友の会会員の相互割引(4館合計:1,728名)を実施したほか、4館相互割引制度(11月1日から11月26日まで)も実施した(4館合計:56名)。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2017年11月18日、19日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,456名の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2017」への参加】

今年度は、関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)と、隣接地区(岐阜、愛知、三重、岡山、

香川、徳島)の美術館・博物館で構成する合計93施設が参加した。主催は93施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2017」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館は、総合展示が無料、特別展示が団体料金となる特典を設定し、2017年度の当館での利用者数は、総合展示874名、特別展示779名であった。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校「京都文化コース」、京都府立鳥羽高等学校「スーパーグローバルハイスクール「イノベーション探求I」～地域再発見プログラム～」と連携授業を実施した。



鴨沂高等学校との連携授業の様子

3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域共働事業 京都文化博物館を核とした地域活性化事業

京都文化博物館地域共働事業「京都文化博物館を核とした地域活性化事業」を展開し、博物館と学校と地域社会の連携を向上するための事業を実施した。地域との定例会を毎月一回開催したほか、フォーラムを4

回、見学会を2回、シンポジウムを1回開催した。本事業は平成29年度文化芸術振興費補助金(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業)の支援をうけた。

【博学社連携フォーラム】

「博学社連携フォーラム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館本館7階サロンや別館講義室にて、以下のように開催した。

◆ 第1回

題目：「堂本印象と三条通」

日時：2017年11月11日(土) 午後2時30分～

講師：山田由希代氏(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)

場所：別館2階講義室

参加者数：25名

◆ 第2回

題目：「二月におこなう餅つきと華
～お餅にまつわる人びとの祈りについて～」

日時：2018年2月4日(日) 午前11時～

講師：橋本章(京都文化博物館学芸員)

場所：別館前ウッドデッキ

参加者数：50名

◆ 第3回

題目：「谷中一点から面へ谷中の古い家と
暮らしの再生～」

日時：2018年2月27日(火) 午後3時～

講師：椎原晶子氏(晶地域文化研究所代表、NPO
たいとう歴史都市研究会理事長、株式会社
まちあかり舎、東京藝術大学非常勤講師、
東京文化資源会議幹事、地域プランナー)

場所：本館7階サロン

参加者数：8名

◆ 第4回

題目：「エリアマネジメントについて～景観まち
づくりと公共施設管理の視点を中心に～」

講師：御手洗潤氏(京都大学経営管理大学院客員
教授)

日時：2018年3月4日(日)

場所：本館7階サロン

参加者数：13名

【臨地見学会】

①.京都市歴史資料館企画展示「鷹山ふたたび—祇園
祭鷹山復興支援展—」を訪ねて

日時：2017年7月16日(日) 午後2時30分～

場所：京都市歴史資料館

現地解説：村上忠喜氏(京都市歴史資料館担当係長)

参加者数：20名

②.『三条通の近代建築ツアー』

日時：2018年3月3日(土) 午前9時30分～

場所：ウイングス京都セミナー室A

および三条通周辺

現地解説：江坂典之氏

(京都府建築士会まちづくり委員会委員長)

篁正康氏

(京都府建築士会まちづくり委員会委員)

参加者数：21名

【博学社連携シンポジウム～

「三条通の近代洋風建築群—その魅力に迫る—」

日時：2018年3月3日(土) 午後2時～5時

場所：別館ホール

前半話題提供

講師：笠原一人氏(京都工芸繊維大学大学院助教)

嘉名光市氏(大阪市立大学大学院教授)

後半パネルディスカッション

コーディネーター：笠原一人氏

(京都工芸繊維大学大学院助教)

パネリスト：嘉名光市氏(大阪市立大学大学院教

授)、塚本喜左衛門氏(ツカキ・グル

ープ代表取締役社長)、若林広幸氏

((株)若林広幸建築研究所代表)、村

野正景(京都文化博物館学芸員)、森

本浩行(京の三条まちづくり協議会

会長)

参加者数：150名

②「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月24日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を団体料金に割引している。期間中の利用者は特別展示97名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財

団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円／1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員は、昨年よりA会員19名、グループ会員22名、合計41名の減少となっている。またB会員については昨年より23名の増加となった。

要因として、友の会運営は博物館事業と一体化しており、特別展や上映映画に対する会員の興味度・関心度によるところも要因の一つと考えられる。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待している。今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

(単位：名)

	2017年度	2016年度	2015年度
A会員	378	397	419
グループ会員	150	177	203
B会員	307	284	280
計	835	858	902

●新規加入者数

(単位：名)

A会員	63
グループ会員	28
B会員	150
計	241

●職業

(単位：名)

会社員	143
公務員	33
教員	27
自営業	66
自由業	7
学生	3
その他	61
無職	495

●男女構成

(単位：名)

	男性	女性
A会員	68.0%	32.0%
グループ会員	48.7%	51.3%
B会員	68.1%	31.9%
計	64.6%	35.4%

●年齢分布

(単位：名)

10代	0
20代	7
30代	35
40代	46
50代	129
60代	248
70代	256
80代	102
90代以上	12
不明	0
最高齢	93
平均	66.04歳

●住所分布

(単位：名)

京都市内	566
京都府内	79
近畿圏内	170
その他の府県	20
(近畿圏内の内訳)	
大阪府	107
兵庫県	34
滋賀県	17
奈良県	12
和歌山県	0
計	170

2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

【「文化財保護基金室事業への協力」】

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都市立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢

字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。2017年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2017年 7月 4日	2017年12月～2018年 3月	10
10月24日	2018年 4月～2018年 7月	14
2018年 2月27日	2018年 8月～2018年11月	13

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用は、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家とし、展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャン

ルで、内容の充実しているものとする。利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議したうえで決定している。

2017年度の利用件数は、36件であった。

【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2017 4.19～4.23	第30回 面風會展—能面・狂言面—	諸工芸	9.16～9.18	第20回 小椋会織物展 志村ふくみ門下生による	染織
4.26～4.30	第25回 光勲能面會展	諸工芸	9.20～9.24	第28回 光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
4.27～4.30	第41回 日本画春季光玄會展	日本画	9.20～9.24	徳田嘉孝作品展	洋画
4.27～4.30	京都創造藝術協會展	美術総合	9.20～9.24	第一回桜舞會—AUBE展—	洋画
4.28～4.30	面匡会京都能面展	諸工芸	10.5～10.8	第37回 聚英展	書
5.5～5.7	第37回 辛酉會書展	書	10.11～10.15	平成29年度 京の名工展	工芸総合
5.10～5.14	日本のこころと美2017 奥宣憲の書	書	11.22～11.26	第29回 工芸美術創工會展	工芸総合
5.24～5.28	50周年記念 京都書作家協会特別展 —京の書の源流をたどる—	書	11.24～11.26	山本万里書作展	書
6.13～6.18	第72回 京都丹平写真展	写真	12.13～12.17	第16回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2017	写真
6.20～6.25	第35回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合	12.20～12.24	第26回 帆の會展	洋画
6.28～7.2	2017京都日本画家協会 第5期展	日本画	12.20～12.24	田中浩史 漆展 とうるしばなし 田中沙衣	諸工芸 (漆芸)
7.19～7.23	第9回 The NIHONGA—伝統と創造—	日本画	2018 1.26～1.28	2017年度 京都橘大学 卒業制作展	書
7.25～7.30	第1回 新日春展(日本画)	日本画	2.22～2.25	第12回 墨聚展	書
8.15～8.20	第88回 第一美術京都展	洋画	3.7～3.11	書 三月の會展	書
8.23～8.27	第36回 六齋會篆刻作品展	書(篆刻)	3.8～3.11	第39回 京都現代書芸展	書
8.23～8.27	第22回 京都ファインド・アイ現代・ 文人光画展	写真	3.21～3.25	第61回 あまがつ會人形展	諸工芸
9.1～9.3	絵更紗美術協會展	染織	3.21～3.25	第9回 「瓜生山縦の會」日本画作品展	日本画
9.6～9.10	台湾芸術大学大学院生グループ展	美術総合 (水彩画・書)	3.21～3.25	第26回 新日美京都支部展	美術総合
計 36件(167日間) 43,521人					

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	5	4	10	3	0	4	2	0	5	3	0	36
割合(%)	14%	11%	28%	8%	0%	11%	6%	0%	14%	8%	0%	100%
入場者数	8,569	2,843	11,531	6,444	0	3,229	1,287	0	3,660	5,958	0	43,521
1件平均入場者数	1,714	711	1,153	2,148	0	807	644	0	732	1,986	0	1,209

*諸工芸には、能面・人形を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準

ずる期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2017 4.4～4.9	Art Quake Kyoto 2017 JAPAN CREATIVITY BIENNALE	(美術)総合	352
	4.4～4.9	村山則雄 刺繍懸装幕(タペストリー)完成記念展	(美術)総合	521
	4.20～4.23	第26回 素敵なクラフト展、第14回 素敵なニット展	諸工芸	1,114
	5.11～5.14	QNJ作品展&中沢玲子と仲間たち	諸工芸	384
	5.19～5.21	七回忌 小峰鐵彰遺作展・第6回 小峰鐵彰門下生展	書	1,752
	6.8～6.11	十人十色 百異百同 栄美子・戸田ロープとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,191
	6.13～6.18	銭玉清書道展	書	1,532
	6.14～6.18	第33回 「竹の会」木版画展	諸工芸	698
	7.6～7.9	第9回 京都 全日本水墨画・俳画・文人画 秀作展	日本画	1,110
	7.19～7.23	中桐育代創作人形展 with 作品写真 by 中桐広暁	諸工芸	288
	7.19～7.23	— shu・ha・ri — 守破離 嵯峨美術大学 日本画・古画領域 3.4回生展	日本画	471
	8.1～8.6	第43回 京都春季創画展	日本画	3,304
	8.11～8.13	水明書道会 創立70周年 平成29年度 水明書展 第68回 一般部	書	1,638
	9.5～9.10	選抜 京都墨彩画壇展 「菊月の墨の彩」	日本画	1,000
	9.6～9.10	'17 写人展	写真	764
	9.6～9.10	上田ミチヨ ソーイング教室発表会	諸工芸	740
	9.6～9.10	第5回 ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	994
	9.15～9.18	ポタニカルアート浅野教室 作品展	洋画	479
	9.15～9.18	第22回 森小夜子人形教室展	諸工芸	1,157
	9.26～9.30	第42回 2017JPS展	写真	1,441
	10.5～10.8	第23回 雪秀会 能面展	諸工芸	485
	10.5～10.8	創部81年 京都大学写真部OB展	写真	555
	10.5～10.8	第34回 龍雲会書展	書	772
	10.26～10.29	第54回 仏教美術展	(美術)総合	3,148
	11.1～11.5	『ラプリーニット 100デザイン』出版記念 石井麻子のニットアート展	諸工芸	1,012
	11.9～11.12	第51回 心象書展	書	1,696
	11.14～11.16	モラ・刺繍・ビーズワーク 生命の樹	諸工芸	3,345
12.19～12.24	Illustration OGOB展(嵯峨美術短期大学イラストレーションOGO B作品展)	(美術)総合	464	
2018	1.5～1.8	沙羅書芸教室 新春書藝展	書	910
	1.19～1.28	第30回 京都美術文化賞 受賞記念展 <22日休室>	美術工芸総合	2,820
	2.9～2.12	京都工芸繊維大学 デザイン・建築学課程 卒業研究作品展 2018	(美術)総合	1,666
	3.2～3.4	第31回 全国シルバー書道展 京都展	書	1,314
	3.7～3.11	中国・東南アジア古代石彫精華美術展 島津法樹コレクション展	その他	365
	3.14～3.18	第17回 福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術)総合	509
	3.29～4.1	第35回記念公募 京都水彩展	洋画	3,934

計35件 使用日数：164日

43,925

※「第35回記念公募 京都水彩展」(3月29日から4月1日)については、利用件数及び入場者数を今年度にも含める。

	会 期		展 覧 会 名	分 野	入場者数
6階	2017	4.22	風楽和く華>Vol.6(邦楽コンサート) 地歌から現代邦楽	その他	60
		5.13	京都文博 嘶の会vol.5 三遊亭兼好 独演会	その他	120
		5.20～5.21	京都橘大学開学50周年記念 卒業生書道展	書	467
		5.24	体験学習(絵付体験等)	その他	230
		5.27～5.28	第49回 京都女流京華会いけばな展	(美術)総合	1,747
		7.22	平成29年度 京都アートラウンジ(第2回)	その他	68
		7.28～7.30	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第21回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,054
		8.5	京都文博 嘶の会vol.6 笑福亭三喬独演会	その他	190
		8.6	京都青年会議所 8月例会 「楽しくつくろう 京のワークショップ」	その他	351
		8.11～8.13	水明書道会 創立70周年 平成29年度 水明書展 第68回 一般部	書	1,284
		9.2	長月の会(清調会)	その他	50
		9.9～9.10	第33回 文化書道近畿連合会展	書	802
		9.17～9.24	玉村晋一×玉村咏 二人展	染織/染色	1,271
		10.8～10.9	第20回 竹心展	書	406
		10.17	体験学習(落語鑑賞会)	その他	140
		10.26～10.29	第54回 仏教美術展	(美術)総合	1,880
		11.4～11.5	第34回 京都府高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門	その他	177
	11.7	体験学習(京舞鑑賞会)	その他	230	
	11.10～11.12	吉田手織工房 京都教室 絲織会 第6回作品展	染織/染色	384	
	11.17～11.19	第55回 龍門社選抜書道展	書	990	
	11.22	三絃・福森文子 琴・福原佐和子 尺八・三橋貴風 博韻之會	その他	80	
	12.2～12.3	第14回 いづみ会書展	書	755	
	12.5～12.10	京都佛画研究所 創業50周年記念展	その他	872	
	12.16	第28回 コロナタイプ技術の保存と印刷文化を考える会(企業研究会)	その他	60	
	12.23	京都文博 嘶の会vol.7 笑福亭たま 独演会	その他	195	
	2018	1.7	知ふみ書道 新春書初展	書	533
		1.23～1.24	第14回 匠・双美会	染織/染色	200
1.30		体験学習(落語鑑賞会)	その他	162	
2.9～2.12		京都工芸繊維大学大学院 デザイン学専攻 修了制作展 2018	(美術)総合	1,281	
2.24		第18回 五色百人一首京都府大会	その他	900	
3.4		華道 御幸遠州流展 2018 春景	(美術)総合	600	
3.24	京都文博 嘶の会vol.8 神田松之丞 独演会	その他	200		
計32件 使用日数：65日					17,739

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	4	2	7	3	1	6	23	-	-	11	-	11	1	35
	日数	-	21	7	27	14	5	31	105	-	-	50	-	50	9	164
	人数	-	5,885	4,413	9,614	2,760	365	6,660	29,697	-	-	11,408	-	11,408	2,820	43,925
6階	件数	-	-	-	7	-	17	4	28	3	-	-	1	4	-	32
	日数	-	-	-	15	-	23	11	49	13	-	-	3	16	-	65
	人数	-	-	-	5,237	-	4,085	5,508	14,830	1,855	-	-	1,054	2,909	-	17,739

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。

※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所	和装衣服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	4	1		1	5	11
	日数	19	2		2	12	35
	人数	1,775	1,000		286	3,483	6,544
6階	件数	19	-	-	1	-	20
	日数	51	-	-	2	-	53
	人数	4,495	-	-	603	-	5,098

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは現在、重要文化財であり、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開している。その一方で多目的ホールとしての機能も持っており、特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業、また貸会場として展示会や音楽会、展示即売会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供して

いる。近年では、三条通りウッドデッキを活用したアートマルシェなどの新たな活用も増えてきている。

尚、2015年10月から2016年8月まで文化庁及び京都府により耐震対策工事が実施された。別館を休館とせず、また別館の貸ホール事業を継続しながら、できる限り開館状態で工事を実施したことは、来館者、別館ホール利用者に概ね好評であった。

【別館利用状況一覧】

会期	展示会・音楽会名	会期	展示会・音楽会名
2017.		～6.16	竹澤汀 LIVE (P)review Museum Tour 京都
4.1	大森靖子 単独公演	6.17～6.18	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
4.2	大西貴浩テノールリサイタル 美しき日本のうた	6.17	～絵と音でつなぐメッセージ～ KUNSTRAUM
4.4	NOK Saxophone Quartet 2nd Concert	6.18	Daiwa Sakura Aid presents ジュスカ・グランペール コンサート
4.7	京フィル室内楽コンサートシリーズvol.61	6.24	野崎良太 with GOODPEOPLE 1st Album Release Live Tour
4.8	混声合唱団アンサンブル・アワーズコンサート	6.25	大久保香・千藤里子 フルートデュオリサイタル vol.3
4.9	染織光悦會	6.29	Amo Italia! イタリアの風をあなたに ピアニスト フランチェスコ・カヴァリエーレ氏を迎えて
4.29～4.30	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.1	小野文 ピアノリサイタル ゴルトベルク変奏曲 アリアと30の楽しみ
4.15～5.14	KYOTO GRAPHIE ラファエル・ダラボルタ 「ショーヴェ洞窟」展	7.2	セシリアシンガーズin京都アンサンブルの楽しみ
4.15～5.14	KYOTO GRAPHIE ルネ・グローブリ 写真展 The Eyes of Love <講義室>	7.7	花結い師 TAKAYA パフォーマンスイベント『うらかた』—Wedding
5.3～5.4	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.8	粟辻紀子・粟辻泰史 ふたりのリサイタル
5.16	通崎睦美コンサート「今甦る!木琴デイズ」vol.7 弦楽四重奏との邂逅	7.9	京都バツハ合唱団演奏会～「永遠の光を」～
5.20	京都フランス歌曲協会設立25周年記念 フォーレとその周辺Ⅴ	7.14	京都府立京都すばる高等学校 祇園祭フィールドワーク
5.21	京のまちづくり協議会 平成29年度定期総会<講義室>	7.15～7.17	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
5.21～5.30	京都国際音楽学生フェスティバル2017(リハーサル)	7.15	同志社女子大学音楽学部生によるミュージアムコンサート
5.30	公益社団法人日本工芸会近畿支部 幹事会<講義室>	7.15	第28回「青山」に箏曲を聴く夕べ
6.2～6.4	インドネシアの布 OHARUコレクション 更紗徒然草	7.16～7.17	祇園祭ミュージアムコンサート
6.8	照明探偵団フォーラム2017 in 京都	7.22	京都アートフリーマーケット公開抽選会
6.9	アテフ・ハリム ヴァイオリンリサイタル	7.22	京都フランス歌曲協会設立25周年記念 フォーレとその周辺Ⅵ
6.10	新井英一アジアを歌う。京都2017「文化博物館」	7.23	ボヴェ太郎舞踊公演『百代の過客』
6.11	すばらしき音仲間たち	7.27	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズ vol.62「室内楽 古今東西」

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
7.29～7.30	アンサンブル・フロット室内オペラシリーズ『こうもり』	11.17～11.19	佐々木真弓・アトリエエンジェル ステングラス・ランプ展
8.1	Chong Ami Birthday recital Vol.1	11.18～11.19	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
8.3～8.4	JWPA写真展 Weddings ～ウエディングフォトグラファー達がとらえた幸せの瞬間～	11.23～11.26	日本建築家協会近畿支部京都地域会建築家作品展
8.5	夏のひとつき	11.30～12.6	貴久樹 天竺展
8.6	フェリックス室内合唱団 第29回演奏会	12.7	全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会
8.8～8.10		12.8	プレス クリスマスコンサート2017
8.15～8.19	COOL MUSIC SPOT in MUSEUM of KYOTO	12.9	京都フランス歌曲協会設立25周年記念 フォーレとその周辺Ⅷ
8.22～8.24		12.10	京都Re:Search 2017フォーラム
8.11	松下悦子門下発表会 歌う会	12.14	Joyful Bells/ハンドベルコンサート
8.13	福田裕司トランペット・ソロ・コンサートvol.13	12.15	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ コンサート
8.11～8.13	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	12.16～12.17	THE GIFT BOX2017 アーティストが提案する特別なギフト
8.19	京都ファインアーツプラス(リハーサル)	12.16～12.17	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
8.25	花結師パフォーマンスイベント「踊ル花」-Yurie	12.19	haruka nakamura 12月のカーテンコールⅢ 京都公演
8.26～8.27	MJ Favorite Live vol.15 in 京都	12.20～12.21	神々の色いろ 映像コンサート
9.1	第3回サロン・コンサートin京都	12.22	レトワールブランシェ管楽合奏団 第34回演奏会
9.3	京都ファインアーツプラス 第19回演奏会	12.23	西垣正信クリスマスコンサート
9.9	第14回健康塾	12.24	アグネス倶楽部 イブにお月さまに行こうこんさあと
9.10	京都アートフリーマーケット出展者説明会	12.26	深澤直人講演会
9.10	Daiwa Sakura Aid presents DEPAPEPE MUSEUM CONCERT ～雨にあたらずゆったりと～	2018. 1.5	J Mコンサート
9.13～9.16	むす美展	1.13～1.14	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
9.16～9.18	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	2.3	京都アートフリーマーケット2018春 出展者説明会
9.17	箏が洋楽器と紡ぐ音楽	2.9～2.12	京都工芸繊維大学建築学専攻 修了制作展2018
9.18	松原健之 ライブツアー 2017	2.10～2.12	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
9.23	JAZZ at Sanjo vol.16	2.15	成安造形大学卒業制作展関連イベント ファッションショー
9.24	ザルツブルガー・シュロスコンツェルトin京都	2.17	谷山浩子コンサート ～デビュー45周年大収穫祭 ソロ編 京都スペシャル～
9.30～10.1	茶花展 『日々花あり』	2.18	植田真梨恵 Live of Lazward Piano“bilberry tour”
10.7～10.9	京都アートフリーマーケット2017秋	2.24～2.25	ARTISTS' FAIR KYOTO
10.13～10.15	KPA「メイキング・ワークショップ2018」	3.1	『狂った一頁』上映/『何が彼女をそうさせたか』上映と 活弁+ピアノ伴奏
10.14～10.15	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	3.2	『地獄門』(4Kデジタル復元版)上映
10.17～10.19	デコラティブペイント展	3.3	博学社連携シンポジウム4 三条通の近代洋風建築群-その魅力に迫る-
10.20	大橋トリオ ファンクラブイベント	3.4	国際京都学シンポジウム「歴史のなかの保存と修理」
10.21	京都から・・・音楽の贈り物	3.7～3.10	むす美展
10.22	華舞—HANAMA I—	3.10～3.11	ぶんばくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
10.25	平沼有梨 feat.古澤巖『PLANET ～惑星～』	3.11	アンサンブル・セリオソ 第4回定期演奏会
10.26	通崎睦美コンサート「今、甦る! 木琴デイズ」vol.8 ～アンコールI～	3.13	コールメイプル スプリングコンサート
10.27	ミュージカル「賢者の贈り物」	3.14	佐賀龍彦ソロコンサート～龍劇RYUGEKI Vol.4
10.28	H I S T O R I C A × K Y O T O V R E X	3.16～3.18	京都アートフリーマーケット2018春
10.29	第9回 京都映画企画市	3.20	SZIGE-古田茂稔 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル
11.2	京都デザインラボ 講演会	3.21	ヴァイオリン×ピアノ デュオリサイタル
11.3	松尾優ホールリサイタル	3.24	永井龍雲 デビュー40周年記念ライブ「顧みて」
11.4	泉会「歌の花束」	3.25	第6回 アンサンブル カノ演奏会 —どこかで触れたことがあるルネサンスの歌—
11.5	立命館大学メンネルコールOB合唱団チャリティコンサート	3.27	京都市立芸術大学 古典派音楽研究会第1回定期演奏会
11.7	ぶんばく雅講座(府教委)	3.31	平井真美子 Piano Diary Concert
11.8	クアルテット・エクセルシオ コンサート		
11.10	杉原圭子 二胡トリオコンサート		
			入場者数 計 214,190人

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2018年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
	課長	井関 洋人	課総括	財団本部事務局兼務 2017.4～
	参事	奥野 清人	課総括補助	2014.5～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	課長補佐兼経理担当係長	宮本 幸樹	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	課長補佐兼広報調整担当係長	磯野真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	担当係長	海老名和孝	企画事業担当業務	2015.4～
	主任	杉浦美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010.5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷婦美子	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
保護基金室 学芸課	嘱託	田中真希代	企画事業担当業務	2014.8～
	文化財保護基金室長事務取扱	奥野 清人	基金事業担当業務	2014.5～
	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報	2016.4～
	学芸員	植田 憲司	映像・情報	2017.4～
	学芸員	清水 智世	絵画	2017.4～

VII-2 施設

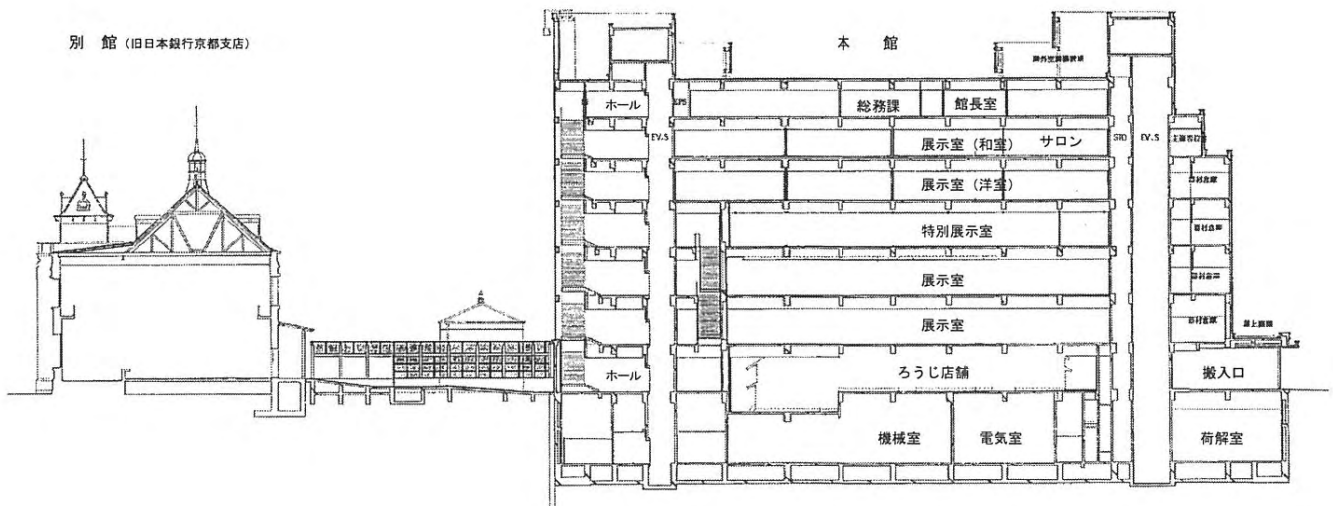
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623- 1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月
 (リニューアル工事実施)
 敷地面積(別館を含む)：公募面積 4,790.3㎡
 実測面積 4,830.0㎡
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
 延床面積：15,841.1㎡(別館を含む)
 本館床面積：13,591.8㎡
 (内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
 塔屋 182.8㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

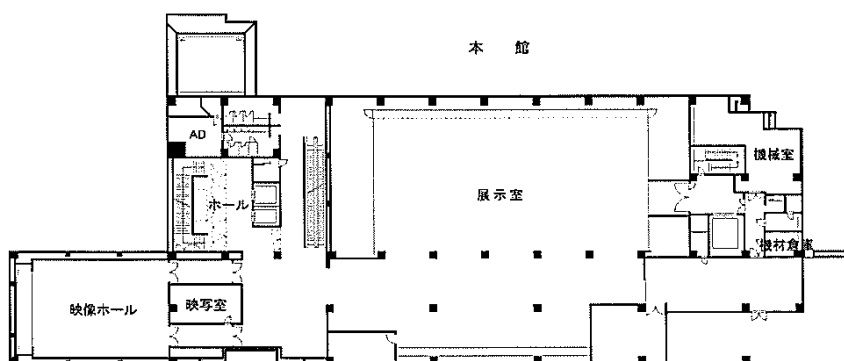
2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル
 菱屋町48番地
 設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903(明治36)年9月
 ～1906(明治39)年6月
 延床面積：2,249.3㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

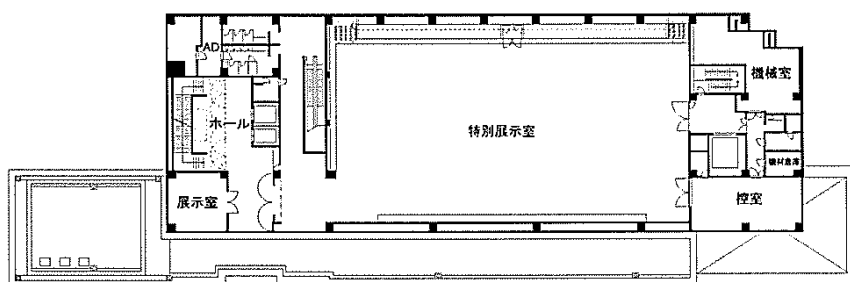
【京都文化博物館断面図】



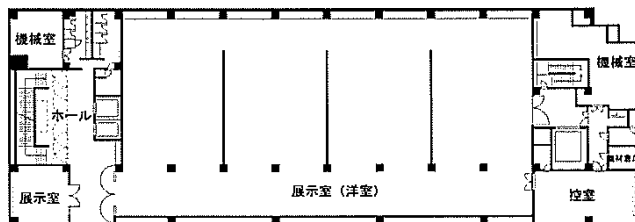
【京都文化博物館 3階平面図】



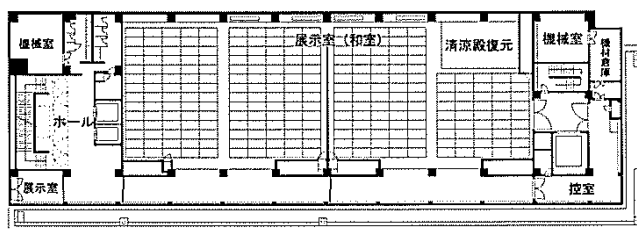
【京都文化博物館 4階平面図】



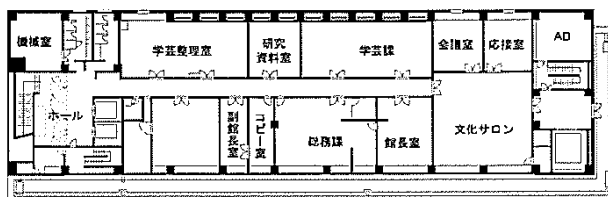
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は158,182名であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◇和紙と和紙小物の店—楽紙館
- ◇京都和雑貨—菰軒
- ◇京のエッセンス16店舗 名店会(順不同)
 - 香老舗—松榮堂 京麩—半兵衛麩
 - 京念珠—福永念珠舗 京菓子—鼓月

- 京佃煮—野村
- 京扇子—とくの
- 八ッ橋—井筒八ッ橋
- 京風雅便箋—表現社
- ちりめん小物—くろちく
- 竹の匠—高野竹工
- 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店

- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇とにまる ぶんぱく店
- ◇京都なだ万寶館
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◇ミュージアムショップ—京都便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◇前田珈琲文博店
- ◇Contemporary Art-JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton art gallery
- ◇和小物—くろちく文博店

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
会員店舗職員向懇親会	荒巻館長と出かける淡路島の旅 ～軌跡の星の植物園～うずしお温泉うめ丸～鳴門うずしおクルーズ～	2017年 5月29日
	世界遺産 二条城 夏の早朝観光 非公開「香雲亭」で京のゆば粥御膳 参加	2017年 7月10日 8:00～ 9:30
	納涼懇親会(店舗職員と館職員の交流会) 於中庭ウッドデッキ	2017年 8月 4日 19:30～ 21:00
	大忘年会(店舗職員と館職員の交流会) 於7階サロン	2017年12月27日 19:30～ 21:00

VIII 2017(平成29)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2017年		
4月 4日	常設上映【戦国時代展特別上映企画】戦国の夢追い人たち	(～16日/FT)
4月 8日	総合展示「祇園祭－放下鉾の名宝－」	(～6月18日/2階)
4月18日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ3」	(～30日/FT)
4月29日	「いつだって猫展」開催	(～6月11日/3・4階)
4月29日	総合展示「近代京都の天津絵－小川千鶴「西洋風俗大津絵」を中心に－」	(～6月18日/2階)
4月29日	総合展示「京都(うち)だって猫展」	(～6月18日/2階)
5月 1日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ4」	(～6月2日/FT)
5月25日	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト文博セレクション	(～27日/FT)
6月 3日	EUフィルムデーズ2017 映画で旅するヨーロッパ	(～25日/FT)
6月17日	酒豆忌30年&関西初開催記念 中川信夫監督『東海道四谷怪談』上映	(17日/FT)
6月20日	総合展示「祇園祭－山鉾巡行の歴史と文化－」	(～7月30日/2階)
6月24日	総合展示「京都の画家と考古学－太田喜二郎と濱田耕作－」	(～8月20日/2階)
6月27日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ5」	(～7月30日/FT)
7月 1日	「世界最高の写真家集団マグナム・フォト創立70周年 パリ・マグナム写真展」開催	(～9月18日/4階)
7月 1日	企画展「近代京都へのまなざしー写真にみる都の姿ー」開催	(～9月18日/3階)
7月 1日	ぶんぱく京都講座「草創期の考古学とアートをつながり 「京都の画家と考古学－太田喜二郎と濱田耕作－」展を題材に」	(1日/AL)
7月15日	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会+トーク	(15日/FT)
7月15日	同志社女子大学音楽専攻科による宵山ミュージアムコンサート	(15日/AH)
7月15日	第28回宵山に箏曲を聴く夕べ	(15日/AH)
7月16日	祇園祭ミュージアムコンサート	(16日、17日/AH)
7月16日	祇園祭記念特別上映会	(16日、17日、24日/FT)
7月16日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(16日/館外)
7月23日	ぶんぱく京都講座「近代の祇園祭のうつりかわりについて～「写真にみる都の姿」から～」	(23日/AL)
8月 1日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ6」	(～31日/FT)
8月 1日	博物館実習	(～7日うち5日間)
8月 3日	第23回京都国際子ども映画祭	(～5日/FT)
8月 5日	総合展示「祇園祭－白楽天山の名宝－」	(～10月15日/2階)
8月 8日	京都文化博物館ミュージアムコンサートシリーズ『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2017』	(～24日 うち11日間/AH)
8月26日	総合展示「伊砂利彦作品展」	(～10月22日/2階)
8月26日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝7」	(～10月22日/2階)
9月 1日	日本映像学会関西支部 第39回夏期映画ゼミナール 山田五十鈴生誕百年記念特集 彼女が演じた娘・妻・母	(～3日/FT)
9月 5日	常設上映「生誕百年 映画女優 山田五十鈴」	(～10月27日/FT)
9月17日	第34回 山中貞雄を偲ぶ会 関連企画「人情紙風船」特別上映	(17日/FT)
9月30日	創造のためのアーカイヴ「文化芸術資源の活用による新たな表現」	(30日/FT)
10月 3日	「ウッドワン美術館コレクション 絵画の楽しみ、画家のたくらみ－日本近代絵画との出会い－」展 開催	(～12月3日/3・4階)
10月 7日	京都アートフリーマーケット2017秋	(～9日/AH他)

月 日	事 項	
2017年		
10月14日	京都府立京都学・歴彩館グランドオープン記念展示「池大雅」開催	(～12月10日／歴彩館)
10月21日	総合展示「祇園祭一伯牙山の名宝一」	(～1月14日／2階)
10月28日	総合展示「木島櫻谷の世界」	(～12月24日／2階)
10月28日	第9回京都ヒストリカ国際映画祭	(～11月5日／FT)
10月28日	第10回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2017)	(～10月31日／FT)
10月31日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション	(～11月3日／FT)
11月 7日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ7」	(～12月3日／FT)
11月23日	ぶんぱく京都講座「木島櫻谷の新発見作品群について～「木島櫻谷の世界」展を中心に～」	(23日／AL)
11月23日	【人文研アカデミー 2017】ロシア革命百周年記念映画祭ー映像に刻まれたロシア革命ー	(～11月26日／FT)
12月 5日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ8」	(～12月27日／FT)
12月16日	「便利堂130周年記念 至宝をうつすー文化財写真とコロタイプ複製のあゆみー」開催	(～1月28日／4階)
12月16日	京都府立京都学・歴彩館開館記念 「京の四季風景」開催	(～3月13日／歴彩館)
2018年		
1月 4日	常設上映「生誕110年 稀代の名脇役 浪花千栄子と沢村貞子」	(～2月4日／FT)
1月 5日	総合展示「保存と修理の文化史」	(～3月4日／2階)
1月20日	総合展示「祇園祭ー役行者山の名宝ー」	(～4月1日／2階)
1月20日	「京都府新鋭選抜展2018ーKyoto Art for Tomorrowー」開催	(～2月4日／3階・AH)
1月21日	ぶんぱく京都講座「日本の修理文化」	(21日／AL)
1月27日	立命館大学映像学部創立10周年記念事業 地域から次世代映画を考える：制作者の視点、上映者の視点	(27日／FT)
2月 6日	常設上映「自由に映画を作りたい！京都のインディーズ興亡史」	(～3月2日／FT)
2月14日	文化庁委託事業 若手映画作家育成プロジェクト ndjc2017年度全5作品 合評上映会	(14日／FT)
2月17日	「ターナー 風景の詩」開催	(～4月15日／3・4階)
2月18日	ぶんぱく子ども教室 第2回 絵はがきをつくろう！	(18日／2階)
3月 1日	創造のためのアーカイヴ 「映画保存・復元・公開ーイタリア・韓国・日本」	(1日、4日／FT)
3月 2日	創造のためのアーカイヴ 「映画文化を楽しむー講演・活弁・上映ー」	(2日、3日／FT)
3月 6日	映画に見るきもの文化	(～4月1日／FT)
3月10日	総合展示「京に響く彫鍛金の技 詩情溢れる生命の息吹 加藤宗巖・忠雄展」	(～5月6日／2階)
3月10日	総合展示「洛陽三十三所3 一ゆかりの人と寺宝一」	(～5月6日／2階)
3月10日	ぶんぱく子ども教室 第3回 空き缶で彫金プレートを作ろう！	(10日／2階)
3月16日	京都アートフリーマーケット2018春	(～18日／AH他)
3月20日	ターナー展特別上映「ターナー、光に愛を求めて」	(21日／FT)
3月24日	創造のためのアーカイヴ 「映画フィルムってどんなモノ？ー映画フィルム現像・焼付体験ワークショップ」	(24日／AL)
3月24日	ぶんぱく子ども教室 第4回 館内ぐるぐる探検ツアー	(24日／館内)

京都文化博物館 2017(平成29)年度年報

発行日 2018年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889
印刷 (株)吉川印刷工業所